

一修身ノ最貴重ス可キ所以ヲ教誨シ常ニ躬行實踐ヲ主トシ處世接物ノ道ヲ明ニセシム
コトヲ要ス

國語及滿文

一文字ノ音訓句讀言語ノ用法文章ノ例格等ヲ教ヘ特ニ字訓章句ノ意義ニ注意セシム
一言辭及筆述ニ熟シシメ極メテ着實適切ナルヲ旨トス

英語

一發音讀方ヲ正シ意義ノ解釋並ニ文法ノ諸法則ヲ知ラシメ文章ヲ作リ又之ヲ翻譯ス
ルコトニ熟達セシム

一筆述ヲ練習セシム

獨語

一發音讀方正シ音聲ノ抑揚句讀ノ階級意義ノ解釋並ニ文法ノ諸則ヲ知ラシメ簡單ナル文章ヲ作ルコトニ達セシム

一會話筆述ヲ練習セシム

地理

一地理及地文學ノ要理ニ通セシム

一地球上自然ノ區分及政治上ノ區分ヲ知ラシム

一各國政治地理ノ概略ヲ知ラシム

一本課ニ於テ歷史上ノ關係ニ就キテ注意ヲ惹起セシムコトヲ期ス

歷史

一歷史上ノ重要ナル事項及開化史上ノ事實ノ概略ヲ知ラシムルヲ要ス

一建國ノ體制聖主賢相ノ治績忠臣義士ノ偉勳群雄ノ起仆諸將ノ成敗政治法律ノ沿革教化風俗ノ變遷學藝ノ隆替武備ノ弛張特ニ本邦及各國ノ關係アル點ニ着眼セシム

數學

- 一 算術、幾何、代數、三角法ノ四課ニ分ナテ之ヲ授ク
- 一 幾何、代數、三角法ノ原理ニ通セシム

博物

- 一 植物、動物、礦物外ノ大要ヲ知ラシム
- 一 植物生活上緊要ナル現象、動物ノ觀察記述分類ノ大意外物ノ關係、人體ノ生理及衛生ヲ知ラシム

物理

- 一 實驗ニ基キ物理上ノ重要ナル現象及定則ヲ知ラシム

化學

- 一 實驗ニ基キ普通ノ化學上ノ現象緊要ナル元素及無機化合物ノ性質ヲ知ラシム

習字

- 一 細字ノ速寫ニ慣熟セシム可キ教授ヲナスコトヲ要ス

圖書

- 一 圖書ハ自在書及用器書ニ通セシム

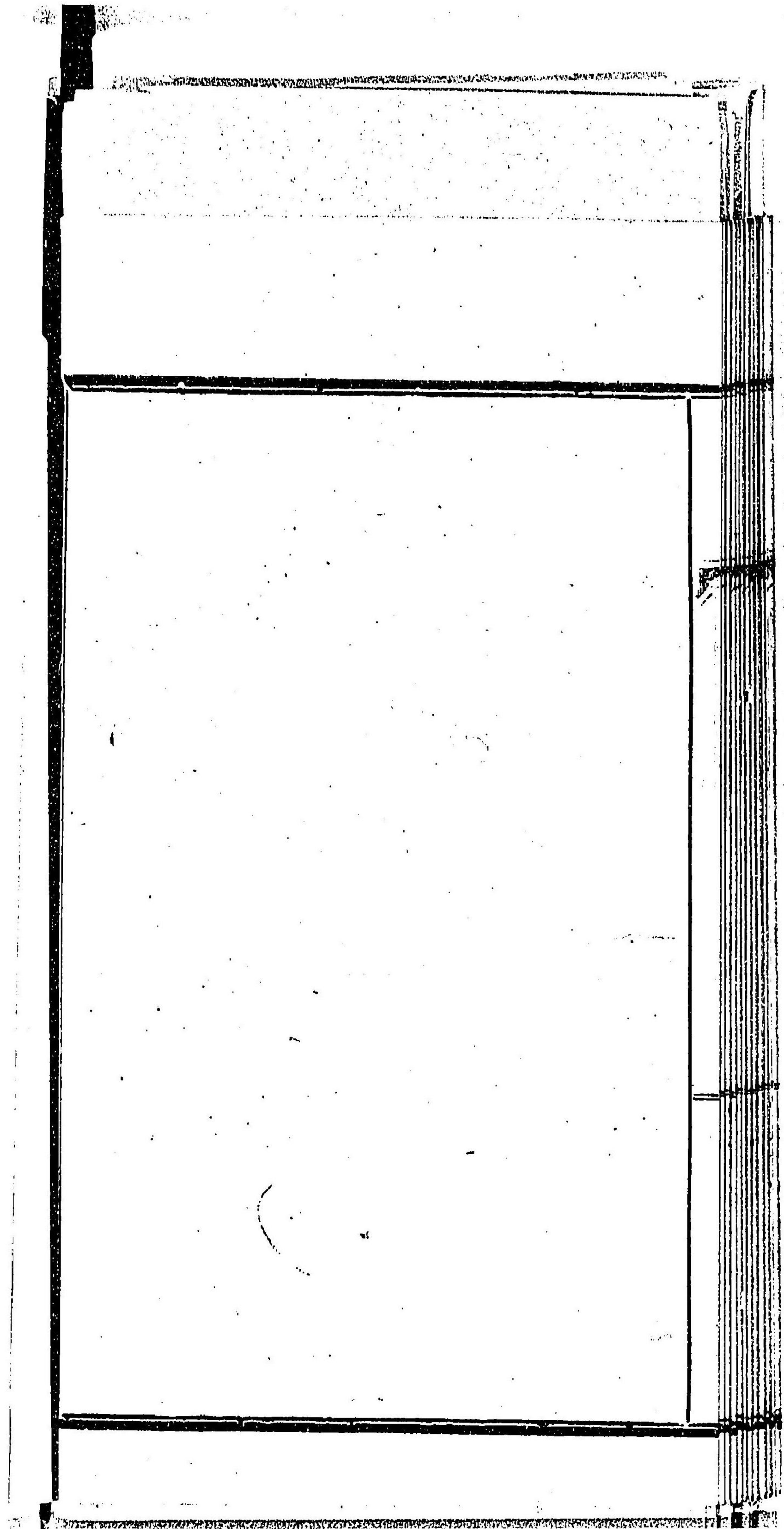
唱歌

- 一 音律ヲ正シテ聲調ヲ證ヘ專ラ心情ヲ感發シテ修身ニ資スルヲ旨トス

體操

- 一 本課ハ普通體操、兵式體操ノ二課ニ分チ身體ノ健全體格ノ端正命令ノ遵守秩序ノ保
維及氣質ノ鍛練ヲ目的トス

第五條 各科課程並教科書配當左表ノ如ク



岡山縣尋常中學校課程表

學科	年	學	學科		英	國語	地	理	博	物	化	習	圖	唱	體
			時	週											
第一	年	上	八	五	八	一	一	一	一	一	一	一	二	三	三
第二	年	上	八	五	八	二	二	四	二	一	一	二	二	三	三
第三	年	上	七	五	七	二	二	四	二	二	二	二	二	三	五
第四	年	上	四	三	四	一	一	四	一	一	一	一	二	五	五
第五	年	上	五	二	五	二	二	三	三	二	二	一	一	五	五

廿年第二十九號別表ノ一

岡山縣尋常中學校課程表

操	歌	書	字	學	理	物	算	史	理	語	語	文及	年		
													週	時	
三 普通體操 徒手迎		二 自在書	一 楷行草ノニ休			一 博物示教	五 算術 幾何幾何初歩	二 日本歴史 上古史 中古史	一 日本地理ノ概容		八 讀方、譯解、書取、綴 文、會話	五 讀取 漢字交リ文及 書取 漢字交リ文及 作文 漢字交リ文及	一 人倫道德ノ教	第一	上全
三 同上 二入球竿		二 同上	一 無變化學		一 物理示教	四 幾何 代數 複習	二 日本歴史 近世史	二 亞細亞、歐巴、亞 非利加ノ地理		八 同上	五 讀取 漢字交リ文及 書取 同上 作文 同上	一 同上	第二	上全	
三 同上 棍棒木環		二 幾何書	二 同上		二 生理及衛生	四 幾何 代數	二 支那歴史	二 亞米利加、歐巴、亞 太利利亞ノ地理 及地文學ノ大要		七 講話 會話、作文、文法	五 讀取 同上 作文 同上	一 同上	第三	上全	
五 兵儀操 並ニ徒手 柔軟體操		二 幾何書 射景法	一 同上		一 力學 物理論 音響學	四 同上	一 萬國歴史 上古史 中古史	一 日本ノ地文、各國 政治地理ノ概容		四 講話 讀方、譯解、書取、 會話、綴字	三 讀取 同上 作文 漢字交リ文	一 同上	第四	上全	
五 同上 體操		一 透視法	二 射景法		二 動物及植物 氣象學 光學 起歷學 磁學ノ大意	三 三角方 代數	二 萬國歴史 近世史			五 讀方、譯解、書取、會 話、作文	二 讀取 漢文 作文 同上	一 同上	第五	上全	

廿年第二十九號別表ノ一

岡山縣尋常中學校教科書配當表

廿年第二十九號別表ノ二

學年	倫理	國語	英語	獨語	地理	歴史	數學	博物	物理	化學	習字	圖畫	唱歌
第一	小學內篇 日本文典 日本外史	日本外史 本朝文苑	ウエブストル 綴字 ナショナル 第一第二讀本 第三讀本		日本地誌要畧 モンテス 萬國地誌口授	國史一斑	ウヰルソン 幾何 摘要算術教科書	博物示教口授					
第二	小學外篇 日本外史 本朝文苑	上下	ロイヤル 第四第五讀本 ベイン 文典		モンテス 萬國地誌 ギョー 萬國地誌 口授	同上	ウヰルソン 幾何 トドハンター 摘要算術教科書		スチワート 小物理書	口授			
第三	論語 小品文鈔 通鑑要覽	ユニオン 第四讀本 ロイヤル 第五讀本 ブラウン 大文典 フノン 大文典	ユニオン 第四讀本 ロイヤル 第五讀本 ブラウン 大文典 フノン 大文典		ギョー 萬國地誌口授 モリ 地文學 改正 漢史簡覽	漢史簡覽	シヨール 幾何 トドハンター 大代數	スチール 衛生生理		ロスコ 化學書		ボリス 幾何畫口授	
第四	同上 史記列傳 正文章範	シヨンソン ラセラス マコーレー クワイブ ウオーレン ヘースチン	ヘステン 讀本 パーティ 會話 オル 逸立 福古本		日本地文 政治地理 口授 スノン 萬國史	萬國史	同上		スチワート 大物理書	同上		ボリス 幾何畫 チヨ チエス 畫法幾何 口授	
第五	大學中庸 唐床八大家	ロイヤル 第六讀 アー ゴールド ミカー		同上	同上	同上	トドハンター 大代數 トドハンター 三角	ニエル 動植物 植物	同上			チヨ チエス 畫法幾何 口授	

表中□印ヲ附スルモノハ參考書又△印ヲ附スルモノハ執レカノ一書ヲ用フ

第一學年	本國文讀本 日本文讀本 小學校	大文典 大文典 大文典	同	同
第二學年	本國文讀本 日本文讀本 小學校	大文典 大文典 大文典	同	同
第三學年	本國文讀本 日本文讀本 小學校	大文典 大文典 大文典	同	同
第四學年	本國文讀本 日本文讀本 小學校	大文典 大文典 大文典	同	同
第五學年	本國文讀本 日本文讀本 小學校	大文典 大文典 大文典	同	同
第六學年	本國文讀本 日本文讀本 小學校	大文典 大文典 大文典	同	同

第三章 學年學期休業

第一條 學年ハ九月一日ニ始マリ翌年七月十五日ニ終ル之ヲ一學年級ノ修業期限トス

第二條 學年ヲ分チテ三學期トス第一學期ハ九月一日ヨリ始マリ十二月二十四日ニ畢リ第二學期ハ一月八日ヨリ始マリ三月三十一日ニ畢リ第三學期ハ四月八日ヨリ始マリ七月十五日ニ畢ル

第三條 始業終業時限及休業日左ノ如シ

月 日	始 業	終 業
自九月一 至全月三十日	午前七時	正午十二時
自十月一 至三月三十一日	午前八時	午後二時
自四月一 至七月十五日	午前七時	正午十二時

一日 曜日

明治二十年縣令

〇八十二

一秋季皇靈祭	秋分日
一神嘗祭	十月十七日
一天長節	十一月三日
一新嘗祭	十一月二十三日
一冬期休業	自十二月二十五日 至一月七日
一孝明天皇祭	一月三十日
一紀元節	二月十一日
一春季皇靈祭	春分日
一春期休業	自四月一日 至七月七日
一夏期休業	自七月十六日 至八月三十一日

第四章 入學、在學、退學

第一條 入學ハ每學年一回即九月ニ於テス

但時宜ニ依リ第二及ヒ第三學期ノ始ニ於テ入學ヲ許スコトアル可シ

第二條 本校ニ入學ヲ許スヘキ者ハ年齢十二年以上ニシテ試験規則ニ合格ノモノトス

第三條 第二年級以上ノ級ニ編入ヲ許スヘキモノハ其年級ニ應スル學力ノ試験ヲ受ケ
シテ試験規則ニ合格セシモノトス

第四條 本校舊生徒ニシテ願ニ依リ退校セシ者再入學ヲ請フトキハ第一學期ノ始ヨリ
原級ニ入學ヲ請フ者ニ限リ詮議ノ上許可スルコトアル可シ

但原級以上ノ學級ニ入ラント欲スル者ハ第三條ニ準シテ許可ス可シ

第五條 入學ヲ請フ者ハ(第一號書式)入學願及學業履歷書(第二號書式)ヲ差出ス可シ

第六條 入學ノ許可ヲ得シ者ハ入學證書(第三號書式)ヲ差出ス可シ

第七條 生徒ハ正副保證人名ヲ設ク可シ

第八條 正副保證人ハ共ニ丁年以上ノ男子ニシテ一家計ヲ立テ身元確實ナル者タル可シ
シ其一名ハ必ラス岡山區若クハ其接近ノ地ノ者ニ限ル可シ

第九條 正副保證人死去ノ若クハ他府縣ニ轉住シ及岡山區若クハ其接近ノ地ヲ去ルトキハ直ニ第八條ノ資格ヲ有スル他人ヲ以テ之ニ代ヘ第三號書式ニ準シ證書ヲ改ムヘシ

第十條 正副保證人四週日以上ノ旅行ヲナサント欲スルトキハ先ツ委任狀ヲ與ヘタル代理人ヲ定メ發途前ニ於テ之ヲ届出歸宅ノ上再ヒ其旨ヲ届出ヲ可シ

第十一條 生徒疾病若クハ己ムヲ得サル事故アリテ一日缺課ストキハ其旨ヲ詳記セル保證人一名連署ノ届書ヲ其ノ翌日迄ニ差出ス可シ二日以上缺課セント欲スルトキハ其ノ理由及缺課日數ヲ詳記セル保證人一名連署ノ證書ヲ缺課ノ初日若クハ其ノ翌日迄ニ差出ス可シ

但疾病ニ依リ缺課二週日ニ及フトキハ保證人一名連署ノ證書ニ醫師ノ診斷書ヲ添フ可シ

第十二條 無届缺課三十日以上ニ及フトキハ除名ス

第十三條 生徒若シ怠惰不品行若クハ校規ヲ犯シ在學セシム可カラサル者ト認定スルトキハ退學ヲ命ス

第十四條 試験規則中退學ニ該當スルモノ及疾病ニ依リ本校ノ課程ヲ履踐スルコト能ハスト認定スルトキハ退學ヲ命ス

第十五條 疾病其他ノ事故ニ依リ退學センコトヲ願出ワルトキハ詮議ノ上許可スルコトアル可シ

第一號書式 (用紙美濃紙)二通

入學願

私儀今般御校第何年級へ御編入相成度則チ履歷書相添此段相願候也

何府(縣)何國何區(郡)何町(村)何番地

族籍某長次男或ハ弟(本人戸主ナレハ記及養嗣子等)入スルニ及ハス

年月日

姓名印

明治二十年縣令

〇八十四

年月日生

岡山縣尋常中學校長何某殿

第二號書式 (用紙美濃紙)

學業履歷書

何年何月何府縣官公私立何學校ニ於テ教師何某ニ從ヒ何學科何年間修業若クハ小學何等科何級卒業用書何々
右之通ニ候也

年月日

姓名印

第三號書式 (用紙美濃紙)

入學證書

私儀今般入學御許可相成候ニ付テハ御規則堅ク相守リ無他念勤學可仕候依テ證書如此候也

何府(縣)何國何區(郡)何町(村)何番地

族籍某 長次男或ハ弟(本人戸主ナレハ記)及養嗣子等 (入スルニ及ハス)

年月日

姓名印

岡山縣尋常中學校長何某殿

前文何某在學中ノ事件ハ一切私共ニ於テ引受可申此段保証候也

何府(縣)何國何區(郡)何町(村)何番地 (寄留ナレハ本籍ヲ併記ス)

族籍

年月日

正保證人 姓名印

年月日生

何府(縣)何國何區(郡)何町(村)何番地 (寄留ナレハ本籍ヲ併記ス)

族籍

副保證人 姓名印

明治二十年縣令

〇八十五

年月日生

向後移轉改印等致シ候節ハ其都度御届可申候

右保證人何某當部内ニ於テ一家計ヲ立ツル者ニ相違無之候也

年月日

何郡第何部戸長

姓

名

印

第五章

試験及卒業証書

第一條 試験ヲ分チテ入學試験學期試験學年試験トス

第二條 入學試験ハ入校ノ時之ヲ行ヒ入學セント欲スル生徒ノ學力ヲ檢定スルモノトス

第三條 入學受験者ハ總テ試験掛員ノ指揮ニ背クヘカラス若シ之ニ違背スルモノアルトキハ試験場ヲ退去セシムヘシ

入學試験課目

讀書

漢字交リ文

作文

漢字交リ文及日用書類

英語

讀方譯解及綴文

算術

四則分數小數比例

習字

日用文字及日用書類(楷行草)

第四條 入學試験評點數ハ每科十分ノ五以上ニシテ各科ヲ合算シ其全點數十分ノ六以上ヲ以テ及第トス

第五條 學期試験ハ第一學期及第二學期ノ終ニ於テ之ヲ行ヒ學期中履踐セシ課目ヲ試験ス

第六條 學年試験ハ第三學期ノ終ニ於テ之ヲ行ヒ學年中履踐セシ課目ヲ試験ス

第七條 學年試験評點數ハ二學期評點數ノ平均ヲ二倍シ之ニ學年試験評點數ヲ加ヘ之ヲ三除レテ得ルモノトス

但一學期中ニ於テ完了セシ學科ハ其學期評點數ヲ以テ平均數ト見做シ本文ニ準レ

テ計算ス、

第八條 凡テ試験評點數ハ一百ヲ以テ最高點トス

第九條 每學期ノ終ニ於テ學期評點平均數十分ノ六以下ナル時若クハ一課目ノ評點數十分ノ三以下ナルトキハ降級セシム

但一年生ニシテ本條ニ當ルモノハ退學セシム

第十條 每學年ノ試験ニ於テハ左表ニ依リテ生徒ヲ處分ス

全科平均點數	試験ニ合格セサル課目數	六十點以下ノモノ	處分
十分ノ六以上	一課	十分ノ五以上	昇級卒業
全	全	十分ノ五以上	學年試験若クハ學期試験評點平均數十分ノ六以上ナルハ昇級
全	二課	十分ノ五以上	全

全科平均點數	試験ニ合格セサル課目數	六十點以下ノモノ	處分
十分ノ五以上	三課以上	十分ノ六以下	降級
十分ノ六以下	一課若クハ二課	十分ノ六以下	全
全	三課以上	十分ノ四以上	全
十分ノ五以下	全	十分ノ四以下	退校

第十一條 試験ニ合格セサル者ハ何等ノ事故ニ拘ハラズ再試験ヲ受クルコトヲ得ス

第十二條 學年試験ニ缺席シ學期試験評點平均數第十條ニ照シテ昇級ノ格ニ讓ルモノハ諮議ノ上テ學年ノ初ニ於テ特ニ前學年ノ學年試験ヲ行フコトアル可シ

第十三條 第九條第十條ニ據リ降級セシ者ハ次級ニ編入シ尙修學セシメ次學年ニ於テ

再ヒ降級スル時ハ退學セシム

第十四條 試験ニ欠席スルコトニケ年ニ及フトキハ退學セシム

第十五條 本校ノ學科ヲ卒ヘ試験ヲ完クセシ者ハ卒業證書ヲ與フ可シ

但在學中一學級ヲ卒ル毎ニ修業證書ヲ付與ス可シ

卒業證書及修業證書式

卒業證書

族 籍

姓 名

校 印

何年何ヶ月

右ハ本校ノ教科ヲ履修シ成規ノ試業ヲ完了セルヲ證ス

岡山縣尋常中學校長姓名印

年 月 日

番 號

修 業 證 書

族 籍

姓 名

何年何ヶ月

尋常中學校第何年級修業候事

年 月 日

岡山縣尋常中學校

校 印

番 號

第六章 授業料

第一條 授業料ハ一ヶ月金五拾錢トシ毎月五日迄ニ前納ス可シ

但本文ノ期日ヲ過タルモノハ授業ヲ止ム

第二條 一家二名以上ノ在學生徒ハ一名ハ全額ヲ納メ其他ハ半額ヲ納メシムルコトヲ

得

第三條 本校ニ於テ仕業スルコト一月三十日以上ニ及フトキハ其日授業料ヲ徴收セ
サル可シ

第四條 新ニ入學シタル者ハ月ノ十五日前後ニ區分シ全額若クハ半額ヲ入學許可ノ日
ヨリ五日以内ニ納ム可シ

第七章 圖書室規則

第一條 圖書室ハ教科用ノ圖書ヲ藏置スル所トス

第二條 職員ハ職務ニ必用ナル圖書ヲ借用スルコトヲ得可シ

但一部限リノモノハ日數ヲ限リ校長ノ許可ヲ經可シ

第三條 生徒ハ本校所在地近傍ニテ購求シ難キモノニ限リ受持教員ノ認印ヲ受テ校長
ノ許可ヲ經ハ貸與スルコトアル可シ

但借用ノ圖書ハ學年試驗終ルノ後直ニ返納セシメ若シ借用中毀損或ハ亡失等アル
トキハ償却セシム

第四條 借用人三週日以上缺席スルトキハ貸與ノ圖書悉皆返納セシム

第五條 時宜ニ依リ調査ヲ要スルトキハ臨時返納セシム

第八章 器械室規則

第一條 器械室ハ教科用ノ器具ヲ藏置スル所トス

第二條 器械室ノ器具ハ職員教科用ノ外ハ貸與スルヲ許サス

第三條 課書用ノ器具ニ限リ教室ニ於テ生徒ニ貸與ス
但使用中毀損或ハ亡失等アルトキハ償却セシム

第九章 圖書縦覽室規則

第一條 縦覽室ハ本校職員及生徒ノ爲ニ設置スルモノナレハ其他ハ何人ト雖トモ校長
ノ特許ヲ經サレハ入室スルヲ許サス

第二條 縦覽室ノ圖書ハ室外へ携出スルヲ許サス

第三條 縦覽室ハ休日ヲ除クノ外毎日之ヲ開ク

但其間同時限ハ時々指示ス可シ

第四條 縦覽室ニ入ル者ハ氏名ヲ掛員ニ出シ置ク可シ

第五條 縦覽室内ニ於テハ音讀談話吸烟ヲ禁ス

第六條 總テ圖書等ヲ閱覽スル者ハ叮嚀ニ繕ク可シ若シ之ヲ毀損汚染シ又ハ亡失シタルトキハ何人ニ限ラス相當代價ヲ以テ償却セシム

第十章 生徒心得

第一條 校中ニテハ都テ職員ノ指揮ニ從フ可シ

第二條 毎科ノ始業ハ黙號ヲ以テ之ヲ報ス

第三條 授業時間ハ其揭示シタル時間制ニ依リ各自ノ日課表ニ記シ失念ナク毎科授業ノ黙號ニ應シ該科必須ノ書籍ヲ携帶シテ所定ノ場所ニ趨ク可シ

第四條 教員ノ許可ヲ經ズシテ親ニ教室ニ入ルヲ許サス

第五條 職員ニ對シテハ勿論生徒相互敬禮ヲ行フヘシ

第六條 校内ニテハ整肅ヲ旨トシ粗暴ノ舉動アル可ラス

第七條 校外ニ在ル時ト雖トモ常ニ本校生徒タルノ體面ヲ汚ス所行アル可カラス

第十一章 生徒罰則

第一條 總テ生徒規則ニ違背スル者ハ之ヲ罰ス可シ

但生徒ヲ罰スルハ專ラ改善ヲ旨トス故ニ主トシテ德義ニ基キ徒ニ形跡ノミニ拘ハラサル可シ

第二條 罰科ハ拘止退校トス

第三條 拘止ハ校内ニ留置シ退校ハ本校生徒ノ籍ヲ削ルモノトス

但拘止ハ一日ヲ二時間トス

○縣令第三拾號 五月十七日

土地分合筆取扱手續

土地分合筆取扱手續

第一條 一筆ノ土地ヲ分割シニ筆以上ノ土地ヲ合併セントスル者ハ其段別地價及ヒ野取圖ヲ添ヘ兵長役場ヲ經由シ地券書換方郡區役所ヘ出願スヘシ

但分合地丈量ニ際シ段別步數ノ増減ヲ發見スルトキハ其段別地價地租ノ修正ヲ縣廳ニ願出許可ノ後地券書換ヲ出願スヘシ

第二條 兵長ハ第一條ノ願書ヲ受領シタルトキハ實地臨檢ノ上與印ヲ爲スヘシ若シ段別地價ノ分配ニ於テ不適當ト見認ルトキハ其旨ヲ諭示シ承服セサルモノハ意見書ヲ作リ郡役所ヲ經由シ縣廳ヘ具申スヘシ

但岡山區ハ本文ニ依リ區長ニ於テ取扱フヘシ

第三條 縣廳ニ於テハ第二條ノ具申書ヲ受領シタルトキハ規定ノ手續ニ據リ更ニ實地ヲ審查シ適當ノ地價ヲ定メ之ヲ所有者ニ示達スヘシ

○縣令第三拾壹號 五月二十日

明治十年(九月)當縣令第八號郡區長分任條件第四項左ノ通改正ス

四部内學務及衛生ニ關スル事

○縣令第三拾貳號 五月廿四日

客年八月當縣令第八拾九號布達中第一項六月一日ヨリ廢止シ第二項獸醫免狀ノ手数料ノ下へ商標登錄料專賣特許料ノ十字ヲ挿入ス

○縣令第三拾三號 六月一日

岡山縣令公布式第二項左ノ通更正但書ヲ追加ス

一岡山縣令ハ山陽新報ニ掲載セシムルヲ以テ一般ノ公布式ト定ム
但事故アリテ該新報ヲ發兌セザルトキハ別ニ印刷配布スベシ

○縣令第三拾四號 六月二日

明治十九年(七月)本縣令第八十二號布達洗湯營業取締規則第二條第六項へ左之但書ヲ追加ス目下營業中之者此但書ニ依リ直チニ惡水路ニ注捨スルモノハ特ニ所轄警察署又ハ分署ノ認可ヲ受クヘシ

但土地之振狀ニ依リ本項ニ據難キ事實アルモノハ留置ヲ設ケス直ニ悪水路（飲料水ニ限ル）ニ注捨スルコトヲ得

○縣令第三拾五號 六月七日

煙草稅則第十四條ニ在ル製造人ノ印章ハ左ノ雛形ニ據リ各自調製來ル七月一日以降該印章ヲ以テ消印スベシ

五	明治何年	製造	何
分	何月何日		々

壹寸 貳分

年號月日ノ不動字ハ彫刻ニ附シ數字ハ其時々記入スルモ妨ケナシ末段ノ何々ハ苗字又ハ屋號等營業人自己適宜ノ文字彫刻スヘシ

○縣令第三拾六號 六月二十二日

明治十九年（五月）本縣中第五拾八號布達質屋取締條例細則中左ノ通改正追加ス

第一條 質屋營業ヲ爲サントスルモノハ第一號書式ニ依リ頭取連署ヲ以テ所轄警察署又ハ分署ニ願出營業免許鑑札ヲ受クヘシ

但十五年未滿ノモノ及瘋癲白痴ノモノハ後見人連署スヘシ後見人ハ營業上一切ノ責ニ任スルモノトス

第二條 質屋營業者ハ所轄警察署又ハ分署ニ於テ指定スル區域ニ從ヒ組合ヲ設ケ組合中正副頭取ヲ撰舉シ組合規約ヲ定メ所轄警察署又ハ分署ニ届出認可ヲ受クヘシ頭取ノ改撰又ハ規約ヲ變更シタルトキ又全シ

但頭取不適任ト見認ルトキハ改撰ヲ命スルコトアルヘシ

第五條 （戸長役場ヲ經由シ）ノ八字ヲ削ル

第十三條 「頭取ハ」ノ下ニ（營業上ニ係ル諸願届ニ連署シ）ノ十三字ヲ挿入シ其下「取締上」ノ三字ヲ（營業上）ノ三字ニ改ム

第十四條 左ノ但書ヲ追加

但其收支方法等ハ所轄警察署又ハ分署ニ届出認可ヲ受クヘシ

○縣令第三拾七號 六月二十二日

明治二十年縣令

〇九十二

明治十九年(三月)本縣甲第四拾八號布達古物商取締條例細則中左ノ通改正追加シ且
此細則中戸長役場ヲ經由スルノ文字ハ總テ削除ス

第一條 古物商營業ヲ爲サントスルモノハ第一號書式ニ從ヒ頭取ノ連署ヲ以テ所轄警
ニ察署又ハ分署ニ願出營業免許鑑札ヲ受クヘシ

但十五年ニ滿タサルモノ及ヒ瘋癲白痴ノモノハ後見人連署スヘシ後見人ハ營業上
ニ關スル一切ノ責ニ任スルモノトス

第二條 古物商ハ各種毎(或ル種ノ營業者少キ地方ハ二種若クハ三種ヲ合セ一組合ト
ナスコトヲ得)ニ所轄警察署又ハ分署ニ於テ指定スル區域ニ從ヒ組合ヲ設テ組合中
ヨリ正副頭取ヲ撰登シ組合規約ヲ設テ所轄警察署又ハ分署ニ届出認可ヲ受クヘシ頭
取ノ改撰又規約ヲ變更シタルトキ又全シ

但頭取不適任ト見認ムルトキハ改撰ヲ命スルコトマルヘシ

第九條 「延送セントスルトキハ」ノ下(開荷ノ儘)ノ四字ヲ挿入ス

第拾二條 「頭取ハ」ノ下ニ(營業上ニ係ル諸願届ニ連署シ)ノ十三字ヲ挿入シ其下「取
締上」ノ三字ヲ(營業上)ノ三字ニ改ム

第拾三條 左ノ但書ヲ追加ス

但其收支方法等ハ所轄警察署又ハ分署ニ届出認可ヲ受クヘシ

○縣令第三拾八號 六月廿五日

所得稅調查委員選舉及委員會細則左ノ通相定ム

所得稅調查委員選舉及委員會細則

第一章 選舉

第一條 調查委員及其補欠員ノ員數ヲ定ムル左ノ如シ

岡山區	調查委員五人	補欠員三人	御野郡全	三人全	二人
津高郡全	三人全	二人	赤坂郡全	三人全	二人
磐梨郡全	三人全	二人	和氣郡全	三人全	二人

邑久郡全	三人全	二人	上道郡全	五人全	三人
兒島郡全	五人全	三人	都字郡全	三人全	二人
窪屋郡全	三人全	二人	淺口郡全	五人全	三人
小田郡全	三人全	二人	後月郡全	三人全	二人
下道郡全	三人全	二人	賀陽郡全	三人全	二人
上房郡全	三人全	二人	川上郡全	三人全	二人
阿賀郡全	三人全	二人	哲多郡全	三人全	二人
眞島郡全	三人全	二人	大庭郡全	三人全	二人
西々條郡全	三人全	二人	西北 東南 條郡全	三人全	二人
東北條郡全	三人全	二人	勝北郡全	三人全	二人
吉野郡全	三人全	二人	英田郡全	三人全	二人
勝南郡全	三人全	二人	久米北條郡全	三人全	二人

久米南條郡 全 三人全 二人

第二條 選舉ヲ分テ町村選舉人選舉調査委員及補欠員選舉ノ二トス

但一郡區内選舉ノ資格アルモノ三十人未滿ノ郡區ニシテ町村選舉人ノ選舉ヲ爲スニ差支アルモノハ郡區長ヨリ知事ノ認可ヲ請ヒ一般選舉人ヲシテ直チニ町村選舉人ト爲スコトヲ得

第三條 町村選舉人ハ其年五月二十日以内ニ調査委員及補欠員ハ五月三十一日以内ニ之ヲ選舉スヘシ

但臨時選舉ハ是限ニ在ラス

第四條 町村選舉人ヲ選舉セントスルトキハ郡區長ニ於テ町村選舉ノ區域町村選舉人ノ員數及其資格ヲ有スル者ノ住所姓名ト選舉ノ投票ヲ爲スヘキ日ヲ豫定シ少クモ五日前ニ之ヲ郡區内ニ公告シ同時ニ第一號書式ニ倣ヒ互選投票用紙ヲ附與スヘシ
調査委員及補缺員ヲ選舉セントスルトキハ郡區長ニ於テ其資格ヲ有スル者ノ住所姓

名一撰人ノ投票ヲ爲スヘキ日ヲ豫定シ少クモ五日前ニ之ヲ郡區内ニ公告シ同時ニ第二號書式ニ倣ヒ投票用紙ヲ町村撰人ニ附與スヘシ

第五條 前條郡區長ヨリ附與シタル各投票用紙ニハ自己及其被撰人ノ住所姓名ヲ記シ豫定ノ日之ヲ郡區長ニ出スヘシ其投票多數ヲ得タル者ヲ當撰人トシ同數ナレハ所得

屆額ノ多キ者ヲ取リ所得モ亦同額ナルトキハ抽籤ヲ以テ之ヲ定ム其調査委員及補欠員ヲ定ムルハ先ツ調査委員ヲ取リ次ニ補欠員ニ及フヘシ

但補欠員ハ税法第十一條調査委員改撰ノ都度之レヲ改撰スヘシ

第六條 各撰人ノ投票ハ豫定ノ日郡區役所ニ於テ投票者二名以上ノ立會ヲ要シ郡區長之ヲ開クヘシ

第七條 投票開披ノ後郡區長ハ各人名簿ニ就キ投票ノ當否ヲ查シ若シ法ニ於テ不適當ノモノアルトキハ之ヲ除キ投票ノ多數ヲ得タル者ヨリ順次之ヲ取ル

第八條 當撰人ノ當否ヲ査定シタル後郡區長ハ其當撰人ヲ郡區役所ニ呼出シ當撰狀ヲ

渡シ當撰人ハ請書ヲ出スヘシ

但當撰人正當ノ事由アリテ其撰ヲ辭シタルトキハ投票ノ多數ヲ得タル者ヨリ順次之ニ充ツ補欠員ヲ生シ補欠員ヲ以テ之ニ充ツルトキモ前項ニ同シ

第九條 當撰人各請書ヲ出シタル後郡區長ハ其住所姓名ヲ郡區内ニ公告シ同時ニ縣廳ニ報告スヘシ

第十條 補欠員ヲ以テ調査委員ノ欠員ニ充テタルトキモ前項ニ同シ

第十條 調査委員ニシテ其資格ヲ失フタルトキハ直チニ退任者ト認メ補欠員ヲシテ順次之レヲ補充スヘシ

第十一條 調査委員ハ税法第十一條ノ改撰ニ據リ退任シタルモノヲ再撰スルヲ得ヘシ

第二章 委員會

第十二條 調査委員會ハ毎年六月之ヲ開ク其期日ハ郡區長ヨリ之ヲ命ス會期ハ二十日

以內トス

第十三條 調査委員會ノ開會期日及開會中ノ集會期限ハ郡區長ニ於テ之ヲ定メ縣廳ニ報告スヘシ

第十四條 調査委員會ハ議ハ郡區役所内ニ之ヲ開クヘシ若シ事故アリテ他ニ開設セントスルトキハ縣廳ノ指揮ヲ請フヘシ

第十五條 開會中ハ所得稅調査ニ關スル者ノ外入場スルヲ得ス

第十六條 所得高ノ當否ハ納稅者一人毎ニ議決シ調査委員會議定ノ印章ヲ押捺スヘシ

第十七條 前條議定ノ書類ハ第三號書式ニ倣ヒ調査委員會決議ノ旨ヲ記シタル書面ヲ添ヘ便宜之ヲ繼續スヘシ

第十八條 調査委員會ニ於テ調査上納稅者ノ所在ニ就テ尋問ヲ要スル片ハ會長ニ於テ出張ノ委員ヲ指名スルコトヲ得

第十九條 調査委員會ノ書記ハ郡區書記ヲ以テ之ニ充ツ書記ハ會長ノ指揮ニ從ヒ委員會ノ庶務ヲ掌ル

第二十條 調査委員疾病其他ノ事故ニ因リ欠席スルトキハ郡區長ニ届出ツヘシ欠席三日以上ニ及ブ者ハ郡區長ヨリ縣廳ニ報告スヘシ

附 則

本年ニ限リ第三條町村撰舉人ハ十月十日以内ニ調査委員及補欠員ハ同二十日以内ニ之ヲ撰舉シ第十二條ノ調査委員會ハ十一月ニ於テ之ヲ開ク (本年縣令第五拾二號ヲ以テ改正)

第一號書式 (半紙半切)

何郡	何郡
何區	何區
何町	何町
何村	何村
何番地	何番地
何郡	何郡
何區	何區
何町	何町
何村	何村
何番地	何番地
撰舉人	撰舉人
姓名	姓名
印	印
明治何年何月何日	明治何年何月何日

郡區長姓名宛
何郡何町何村撰舉人撰舉之投票
住所
姓名

第二號書式 (美濃半切)

何郡所得稅調查委員及補欠員
住所姓名
何郡何町村何番地
選舉人姓名印
明治何年何月何日

郡區長姓名宛
所得稅調查委員及補欠員選舉人投票

住所姓名

第三號書式 (用紙美濃紙)

所得高決議書

一金何万何千圓

別冊何人分ノ所得高

金何程
金何程
金何程
內金何程

何何何
等等何
何何何

右ハ明治何年分何某外何人ノ所得高調査ヲ遂ケ別冊ノ通議定ス

何(郡區)所得稅調查委員會

年月日	會長	何(郡區)長	姓名	印
	委員		姓名	印
			姓名	印
			姓名	印

○縣令第三拾九號 六月廿五日

勝北郡撰舉縣會議員赤松醇之助辭職セシニ付來ル七月中補欠撰舉會開設ス
但撰舉期日場所等ハ該郡長ヨリ部内へ廣告スヘシ

○縣令第四拾號 七月十二日

明治十一年(十一月)當縣中第四百拾貳號諸公債證券讓賣渡手續書中第十條左之通改正

第十條

諸公債証券所持人管内ニテ轉籍并他管ヨリ當縣下ニ寄留セシ者寄留替スルトキハ區ハ區長與書郡ハ戶長連署郡長與書ヲ以届出スヘシ

○縣令第四拾壹號 七月十三日

銃砲取締細則別紙之通制定シ來ル九月十五日ヨリ實施ス

但明治九年甲第七拾三號全十四年甲第二百四號全十八年甲第三十五號全第八十八號布達ハ本則施行ノ日ヨリ廢止ス

銃砲取締細則

第一條 本則ハ明治五年第二十八號公布ニ據リ銃砲(軍用銃免許銃ヲ總稱ス)ノ取扱ヲ示定スルモノトス

第二條 軍用銃ヲ買取又ハ讓受ントスルモノハ第一號書式ニ倣ヒ所轄警察署又ハ分署

ヲ經テ縣廳ヘ願出免狀ヲ受クヘシ

但陸海軍準士官以上ノ武官ヨリ買取又ハ讓受クルトキハ其主ノ連署ヲ要スベシ

第三條 前條ノ許可ヲ得タルモノハ其讓受ノ日ヨリ三日以内第二號書式ニ倣ヒ双方連署ノ上免狀相添ヘ所轄警察署又ハ分署ヲ經テ縣廳ニ届出ヘシ

但免許商ハ第十二條ノ手續ニ依リ其免狀ヲ返納スヘシ

第四條 軍用銃有者死亡等ノ場合相續者又ハ同籍ノ親子兄弟讓受クルモノハ第二號書式ニ倣ヒ所轄警察署又ハ分署ニ届出ヘシ

但死後相續ノモノハ親族保証人トシテ連署スヘシ

第五條 管外非營業者ヨリ軍用銃ヲ買取又ハ讓受クントスルトキハ豫メ其所轄警察署又ハ分署若クハ戶長ノ証明ヲ受テ第二條ノ願書ニ添附スヘシ

第六條 無檢印ノ軍用銃ヲ買取リタルモノハ第三條ノ届出ヲ爲シタル日ヨリ十日以内檢印彫刻方所轄警察署又ハ分署ヲ經テ縣廳ヘ申請スヘシ

但其銃ハ本人ヨリ直ニ所轄警察署又ハ分署へ差出スヘシ

第七號 免許銃ヲ買賣譲受シタル片ハ第二號書式ニ倣ヒ双方連署ノ上所轄警察署又ハ分署ニ届山スヘシ

但所有主死後相續等ニ係ルトキハ第四條但書ノ手續ヲナスモノトス

第八條 銃砲ヲ買賣譲受スルモノ未丁年又ハ白痴癡癪若クハ女子ナルトキハ後見人若クハ親族保証人ノ連署ヲ要スヘシ

第九條 左ノ場合ニ於テ軍用銃ハ十五日以内免許銃ハ三十日以内所轄警察署又ハ分署

(第二項ハ双方警察署又ハ分署(第四項ハ舊任地所轄警察署又ハ分署)へ届出ヘシ

第一項 銃砲ヲ所持シ他山村ニ轉籍又ハ寄留シタルトキ

第二項 銃砲ヲ所持シ管内他郡區ニ轉籍又ハ寄留シタルトキ

第三項 銃砲ヲ所有スルモノ氏名ヲ變換シタルトキ

第四項 銃砲ヲ所持シ管外へ轉籍又ハ寄留シタルトキ

第五項 管外ヨリ銃砲ヲ所持シ轉籍又ハ寄留シタルトキ

第十條 軍用銃ヲ廢棄銷潰又ハ免許銃ニ改造セントスルモノハ其事由ヲ詳記シ現品相副へ所轄警察署又ハ分署へ願出認可シ受クヘシ

但免許銃ヲ廢棄銷潰シタルトキハ其旨警察署又ハ分署へ届出ツヘシ

第十一條 第三條ノ届出ヲナスモノ警察署分署ノ管轄ヲ異ニスルトキハ賣渡讓渡人所轄ノ警察署又ハ分署へ差出スヘシ第七條ノ届出ヲナスモノ亦全シ

但買譲受人ハ更ニ所轄警察署又ハ分署へ届出ヘシ

第十二條 免許商人ハ規則第三則ニ依リ第三號表式ニ倣ヒ賣買表ヲ製シ翌月五日限リ(軍用銃ハ免)所轄警察署又ハ分署へ差出スヘシ

第十三條 銃砲製造免許人ハ免許商人ノ外需用者ニ直賣スルコトヲ許サス

但其賣買手續ハ凡テ本則ニ依ルヘシ

第十四條 銃砲製造免許人ハ第四號書式ニ倣ヒ製造表ヲ製シ翌月五日限リ所轄警察署

又ハ分署エ届出スヘシ

第十五條 本則第二條第三條第四條第六條第七條第九條第十條第十二條第十三條第十四條ニ違背シタルモノハ違警罪ノ刑トナシ一日以上三日以下ノ拘留ニ處シ又ハ貳拾錢以上壹圓貳拾五錢以下ノ科料ニ處ス

第一號書式

軍用銃買入(讓受)願

年號廳府縣番號

一何銃 一挺 (和銃ハ玉目ヲ記ス以下全シ)

右ハ今般何府(縣)國郡(區)町(村)番地住族籍(免許商)何ノ誰ヨリ前記ノ軍用銃買入(讓受)申度候ニ付免狀御下渡被成下度此段奉願候也

何國郡(區)町(村)番地住又ハ寄留(寄留ハ原籍ヲ記族籍)

年月日

(免許商)

何

之

誰

岡山縣知事宛

第三號書式

軍用銃(賣買)御届
免許銃(讓受)

年號廳府縣番號

一何銃 一挺 軍用銃ノ例

一和銃玉目何奴 一挺 免許銃ノ例

右ハ(何府(縣)國郡(區)町(村)番地住何誰ヨリ買入(讓受)度旨縫キニ出願御許可ヲ得即チ何月何日ヲ以テ授受致候ニ付免狀相添ヘ)(父某死亡或隱居ニ付年月日私相續讓受申候間)(府(縣)國郡(區)町(村)番地何誰ヨリ買入(讓受)且ツ賣渡(讓渡)申候間(此段連署(親族連署)ヲ以テ御届申候也

何國郡(區)町(村)番地住籍

明治二十年縣令

〇百

本月未現在敷 西洋形 何挺
和形 何挺
右之通製造仕候間此段御届申上候也

何國郡(區)町(村)

年月日

製造免許人

何

之

誰

何警察署又ハ分署宛

○縣令第四拾貳號 七月十七日

明治十八年(五月)本縣布達甲第四十五號本縣々立岡山學校女子科規則自今相廢止ス

○縣令第四拾三號 八月十日

劇場及寄席取締規則別冊之通改正ス

但從來許可ヲ得タル劇場并ニ寄席ニシテ本則ニ抵触スルモノ向フ一々年間ニ改造セ
サルモノハ許可ノ効ヲ失フヘシ

劇場取締規則

第一條 劇場ハ左ノ構造法ニ依リ建造スルモノニ限リ許可スヘシ

但土地ノ狀況ニ依リ陸嶺ノ上許可セサルコトアルヘシ

一 公立學校構内ヲ距ル、式丁以外ノ地ヲ要スルコト

二 劇場ハ間口拾圓奥行拾六間以上ニシテ廣潤堅牢ヲ要シ且其屋根ハ瓦等ノ不燃物
ヲ以テ之ヲ葺キ火災其他渾テ危險ヲ防クヘキ準備アル構造ヲ要スルコト

三 劇場ノ壁ハ其内外部ヲ問ハス渾テ粘土ヲ以テ白壁ニ塗リ且樂屋ト舞臺トノ間ニ
ハ恰當ノ限界ヲ設クヘキコト

四 出入口ハ外開ノ扉ニテ設ケ且非常口三ヶ所以上ヲ設クヘキコト

五 二階椅子ハ幅登間以上ニシテ堅牢ナル手摺ヲ付ケタルモノ少クトモニヶ所以上
ヲ要シ且其他ニ非常椅子ニテ所ヲ設クヘキコト

但非常椅子ハ外部ノ出口ト爲スヘシ

六 空氣流通ノ爲メ相當ノ窓牖又ハ格子等ヲ設クヘキコト

明治二十年縣令

〇百二

- 七 全場見廻シ易キ場所ニ警備官吏ノ監視席ヲ設クヘキコト
- 八 奈落及花道下ハ石造若クハ煉瓦石ニテ構造スヘキコト
- 九 客席ハ渾テ疊敷又ハ板敷ヲ要スヘキコト
- 十 不燃質物ヲ以テ燈火取扱室ヲ設クルコト
- 十一 便所ハ男女ヲ隔別ニナシ少クトモ各ニテ所以上ニシテ臭氣ノ檢數ニ及ハサル所ニ造設スヘキコト
但廁竈ハ必ラス窓衣ヲ有スル陶器ヲ用ヒ其竈口ノ周圍ハ漆喰土ヲ以テ築造ス
- 十二 劇場構造物ノ兩側ニハ少ナクトモ二間以上ノ空地ヲ設クルコト
- 二條 劇場ヲ新設又ハ改造セントスル者ハ第一號書式ニ依リ建物圖面及建築仕様書敷地坪數等ヲ詳記シ且該町村故障ナキノ証(改造ニハ此証ヲ要セス)ヲ添ヘ所轄警察署又ハ分署ヲ經由シ縣廳ヘ願出テ許可ヲ受クヘシ

第三條 前條ノ許可ヲ得構造ニ際シ左ノ場合ニ至ルトキハ其都度所轄警察署又ハ分署ヘ願出テ臨檢ヲ乞フヘシ

但檢査ノ際其構造第一條ノ各項ニ適セサルカ又ハ不堅牢ト認ムルヘキテ所アルトキハ臨時其改造ヲ命スルコトアルヘシ

- 一 地盤及奈落花道下構造工事ノ火
- 二 建揚垂木打渡着字ノ前
- 三 全場落成シタルトキ
- 第四條 廣場若クハ賣買議興シタルトキハ(賣買議興ノトキハ双方連署)所轄警察署又ハ分署ヲ經由シ縣廳ヘ願出ヘシ
- 第五條 劇場ニハ火災ヲ防ク爲メ相當ノ消防器械ヲ備ヘ置クヘシ
- 第六條 演劇ヲ爲サントスルトキハ遅クトモ二日前仕組帳及藝人鑑札ヲ添ヘ所轄警察署及ハ分署ヘ願出テ許可ヲ受クヘシ

但休業止業又ハ日延等ノトキハ其都度届出ヘシ

第七條 興行中ハ元請人出場スヘシ若事故アルトキハ相當ノ代理人ヲシテ場中一切ノ取締ヲ爲サシムヘシ

第八條 演劇ハ左ノ所業ヲ禁ス若シ違背シタル所爲アルトキハ其狀況ニ依リ臨時演劇ヲ停止スルコトアルヘシ

- 一 勸善懲惡ノ旨趣ニ背キタル所爲アルコト
- 二 正邪ヲ誤リ倫理ヲ紊リ其他風俗ヲ害スル猥褻ノ所爲アルコト
- 三 仕組帳外ノ所爲ヲナスコト

第九條 劇場ニ於テハ左ノ所爲ヲナスヘカラス

- 一 觀客ヘ圖ヲ賣リ其他種々ノ名義ヲ以テ出金ヲ促カヌコト
- 二 觀客ヲシテ客席ニ往來セシメ又ハ觀客ヲシテ樂屋ニ出入セシムルコト
- 三 二階客席及追込席ニ定員外ノ觀客ヲ入ルヘコト

四 觀客ノ坐席ヲ暗黒ナラシムルコト

五 無電ノ燈火ヲ用ユルコト

但釣火又ハ面火等ハ格別ナリトス

第十條 演劇ハ日出ヨリ午後十二時ヲ限ルヘシ

但烈風等ノトキハ臨時其閉場ヲ命スルコトアルヘシ

第十壹條 木戸錢弁ニ客席料其他觀客ニ必要ノ條件ハ木戸口其他觀客ノ見易キ場所ニ

揭示スヘシ

第十貳條 二階客席及追込席ハ其人員ヲ定メ二階客席一枚何人以内トシ追込所轄警察署

又ハ分署ノ認可ヲ受メ之ヲ其席内ニ揭示スヘシ

第十參條 劇場ハ渾テ清潔ヲ要シ殊ニ便所ハ將々之ヲ掃除シ防臭劑ヲ散布スヘシ

第十肆條 鞭杖傘等ノ如キ物件ヲ携帶シ又ハ犬猫等ノ獸類ヲ牽キ若クハ履物ヲ着ケタル觀客ハ之ヲ其坐席内ニ入ラシムヘカラス

第拾五條 觀客中喧嘩亂暴レ又ハ搦戰等ノ遊戲ヲ爲シ若クハ袒裼裸体スル等荷モ場内ノ安否ヲ妨ケ風俗ヲ害スル所爲アルモノハ之ヲ制止シ尙ホ肯セサルトキハ出場セシムヘシ

第拾六條 觀客ノ依托品ハ相當ノ置場ヲ設ケ尊重之ヲ保管シ紛亂セシムサル様注意スヘシ

第拾七條 當日閉場ノ際ハ遅クトモ十分前通常出入口ヲ開キ觀客ノ退出ヲ容易ナラシムヘシ

第拾八條 劇場興行上ニ關スル所爲ハ元請人若クハ座主ヲ以テ其責ニ任スヘシ但戀人等一己ノ故意ニ係ル所爲ハ格別ナリトス

第拾九條 臨時假小屋ニテ演劇興行ヲ爲サント欲スル者ハ其願書ニ建物ノ構造客席ノ摸樣等ヲ詳記シタル圖面並ニ該町村故障ナキノ証ヲ添へ所轄警察署又ハ分署ノ檢査ヲ乞ヒ許可ヲ受クヘシ

但假小屋興行ハ三日以上ニシテコトヲ得ス

第廿條 前條假小屋興行ト雖モ本則第一條第六項第六條第七條第八條第九條第十條第十一條第十二條第十三條第十四條第十五條第十六條第十七條第十八條ヲ適用スヘシ

第廿一條 劇場ヲ假用シ手廻手品足藝輕業淨瑠璃影繪操人形猿狂言等ノ如キ諸興行ヲ爲スハ妨ケナント雖トモ此場合ニ於テハ寄席其他各木業ニ關スル規則ヲ遵守スヘシ
第廿二條 此規則第三條第四條ノ届出ヲナサス及第六條第七條第八條第九條第十條第十一條第十二條第十三條第十九條ニ違背シタルモノハ刑法第四百二十八條第五項ニ據リ處分スヘシ

劇場建設
改造願

何國何郡(區)何町(村)何番地住(寄留)身分

(寄留ナレハ本籍ヲ併記スヘシ)

何 誰

私儀何國何郡(區)何町(村)何番地へ劇場建設(改造)仕度就テハ總テ御規則第一條ニ

基キ構造可仕候間御許可成被下度別紙書類相添へ此段奉願候也

〔別紙書類トハ規則第二條ニ據リ添付スヘキ建物圖(改造ニハ之)面及建築仕様書敷地坪數並該町村故障ナキノ証(レヲ要セス)〕

年月日

右地主

(借地ナレハ地主ノ連署ヲ要ス)

岡山縣知事宛

寄席取締規則

第一條 寄席トハ汎ク聽衆觀客ヲ集メ相當ノ席料ヲ受テ講談落語淨瑠璃歌音曲影繪等ノ技藝ヲ演スルモノヲ云フ

第二條 寄席ハ左ノ各項ニ依リ構造スヘシ

一 公立學校構内ヲ距ル、武丁以外ノ地ヲ要スルコト

二 通常出入口ノ外裏面又ハ横側ニ非常口ニテ所以上ヲ設クルコト

但扉ハ外開ナルヲ要ス

三 客席ハ渾テ板敷又ハ畳敷トナスコト

四 二階梯手ハ手摺ヲ付シ堅平ナルモノニテ所以上ヲ設ケ尙非常ノ爲メ外部へ出ツヘキ梯子二個以上ヲ設ケヘキコト

五 空氣流通ノ爲メ相當ノ窓牖又ハ格子等ヲ設ケ可キコト

六 全場見透シ易キヲ所ニ警察官吏ノ監視席ヲ設ケヘキコト

七 便所ハニテ所以上ニシテ臭氣ノ客席ニ及サル所ニ設ケヘキコト

但廁竈ハ必ス盗衣ヲ有スル陶器ヲ用ヒ其竈口ノ周圍漆喰土ヲ以テ築造スヘシ

八 寄席建造物ノ兩側若クハ片側ニハ少ナクトモ一間以上ノ空地ヲ設ケヘキコト

第三條 寄席ヲ新設又ハ改造セントスル者ハ其構造ノ方法敷地坪數等ヲ詳記シタル書

面ニ建物壁面及ヒ四隣地主故障ナキノ証ヲ添ヘ(改造ニハ之ヲ要セス)所轄警察署又ハ分署へ願出許可ヲ受クヘレ

第四條 寄席ニハ左ノ看板ヲ製シ所轄警察署又ハ分署ノ捺印ヲ受テ入付ニ掲出スヘシ

縦三尺

三十一
〇 〔捺印〕 寄席 姓 名

第五條 廢席若クハ賣買讓與シタルトキハ(双方連署)所轄警察署又ハ分署へ届出ヘシ

第六條 寄席ニハ非常ノ爲メ相當ノ消防器械ヲ備ヘ置クヘシ

第七條 寄席ハ行フ爲メサントスルトキハ前以テ其演藝ノ種類日數等ヲ詳記シタル書面

ニ添入鑑札ヲ添ヘ所轄警察署又ハ分署へ願出許可ヲ受テヘシ

但開席又ハ日延等ノトキハ其都度届出ヘシ

第八條 演藝中ハ左ノ諸項ニ抵触スル所爲又ハ講談ヲ禁ス若シ違背シタルトキハ臨時其演藝ヲ停止スルコトアルヘシ

一 正邪ヲ誤リ倫理ヲ紊リ其他猥褻ノ所爲アルコト

二 許可外ノ事項ニ涉リ又ハ演劇ニ類似スル所爲アルコト

第九條 寄席ニ於テハ左ノ所爲ヲナスヘカラス

一 來客ニ對シテ闇ヲ賣リ又ハ種々ノ名義ヲ以テ出金ヲ促スコト

二 客席ヲ暗黒ニシ又ハ藝人ヲ客席ニ招キ來客ヲ藝人休息所等ニ往復セシムルコト

第十條 寄席ハ午後十二時限リ閉場スヘシ

第十一條 水戸錢並ニ席料其他來客ニ必要ナル條件ハ水戸口若クハ其他ノ見易キ場所ニ揭示スヘシ

第十二條 寄席ハ常に清潔ヲ要シ殊ニ便所ハ時々掃除スヘシ

第十三條 興行中ニ關スル所爲ハ元請人若クハ席主ヲ以テ其責ニ任スヘシ

但藝人等一己ノ故意ニ係ル所爲ハ格別ナリトス

第十四條 定席外ニ於テ臨時假席ヲ設ケ演藝セントスル者ハ第七條ノ願書ニ其場所及

建物掃造等ヲ詳記シタル圖面ヲ添ヘ願出ツヘシ

但假席興行ハ三日以上ニ涉ルコトヲ得ス

第十五條 前條ノ仮席ニ於テモ尙本則第八條以下ヲ適用スヘシ

第十六條 此規則第三條第四條第五條第七條第八條第九條第十條第十一條第十二條第

十四條ニ違背シタルモノハ違警罪トナシ一日ノ拘留ニ處シ又ハ十錢以上二圓以下ノ

科料ニ處ス

寄席建設願

何國何郡(區)何町(村)何番地(本籍ノ別)

族 籍

何 誰

私儀何國何郡(區)何町(村)何番地へ寄留(建設改造)仕度就テハ總テ御規則第二條ニ
基キ掃造可仕 問御許可被下度別紙書類相添ヘ此段奉願候也

〔別紙書類トハ規則第三條ニ據リ添付スヘキ構造ノ方法敷(改造ニハ之)〔
地坪敷ノ詳細書及ヒ建物圖面并ニ四隣地主故障ナキノ証(ヲ要セス)〕〕

年 月 日

右地主

(借地ナレハ地主ノ連署ノ要ス)

警察署長宛

○縣令第四拾四號 八月十八日

煙草取扱方左ノ通相定ム

第一條 自用ノ煙草ハ自製又ハ製造人ニ托シ製造セシムルノ外他人ヲシテ製造セシム
若ハ貸切セシムルヲ得ス

第二條 煙草耕作人並煙草仲買人ニシテ未製造煙草ヲ賣渡ストキハ其量目代價年月日
等ヲ詳記シタル買受人ノ現品領收証ヲ要スルカ若クハ判取帳ニ記載セシム之ヲ保存

明治二十年縣令

〇百八

スヘシ

第三條 何人ニテモ烟草ヲ運搬スルトキハ製造ト未製造トナ同ハス其量目並届先キ差
出人所籍氏名等ヲ詳記シタル荷札ヲ附ケ置クヘシ

第四條 烟草營業者ニシテ未製造烟草又ハ製造烟草ヲ自己ノ所有ニアラサル倉庫家宅
等ニ預ケ置カント欲スルモノハ其時々其量目並預クヘキ郡區町村名地番號氏名等ヲ
詳記シ其區租稅檢査派出所ニ届出スヘシ

第五條 製造烟草ヲ自用ノ爲メ買需メ之ヲ使用セントスル場合ニ於テ發賣ヲ毀ツトキ
ハ必ラス印紙ヲ破毀スヘシ

第六條 烟草營業者ニシテ拔殻印紙ヲ其儘所持スルヲ得ス

第七條 烟草製造人ハ烟草製組帖葉卷帳ヲ製シ日々仕上ケタル數長ヲ詳記シ置キ之レ
カ檢査ヲ受クヘシ

第八條 烟草營業者ハ烟草買入帳烟草製造帳烟草賣渡帳烟草印紙買入帳全貼用帳烟

草葉組帳葉卷帳等ニハ必ラス月計通計ヲ附記スヘシ

○縣令第四拾五號 八月廿七日

明治二十年度地方稅非常費收入豫算追加常置委員會ノ議決ヲ經テ左ノ通相定ム

明治二十年度地方稅非常費支出豫算追加

一金四万四千四百四拾七圓三拾九錢四厘

土 水 費

内 譯

金九千六百四拾三圓五拾貳錢七厘

道路 橋 梁 費

金三万千八百三圓八拾六錢七厘

治 水 堤 防 費

一金九千三百九拾四圓七拾五錢七厘

區町村土木補助費

合計金五万八千四百四拾貳圓拾五錢壹厘

明治二十年度地方稅非常費收入豫算追加

一金五万八千四百四拾貳圓拾五錢壹厘

地 租 割

明治二十年縣令

○百九

但本年地租豫算高百四拾五万七千九百四拾九圓地租壹圓ニ付金三錢四厘八毛七
二三七九六

○縣令第四拾六號 八月三十日

明治十三年本縣甲第百四拾號布市街便所規則全十四年本縣甲第六拾五號布達料理屋
並諸飲食店營業取締規則全十四年本縣甲第六拾七號布送温泉及藥湯營業取締規則全十
六年本縣甲第五號布達煙火製造取締規則全十六年本縣甲第五十四號布達牛乳搾取並販
賣規則全十七年本縣甲第一號布達銃砲射的場及射的演習取締規則全十八年本縣甲第
三十八號布達屠牛並販肉規則全十八年本縣甲第五拾一號布達死者取締規則中左ノ通改
正削除ス

明治十三年十月本縣甲第百四拾號布達

市街便所規則

第一條 街頭便所ハ該町村(岡山區ヲ除ク)ノ所管トナシ修繕及新設等渾テ其協議ニ任

スルモノトス最モ新設ノ時ハ其場所並ニ建物ノ圖面ヲ添ヘ所轄警察署又ハ分署ヘ出
頭スヘ

但各村落中比屋進比市街ノ体ヲナシタル所ハ本文ニ準ス

第十一條 此規則第一條第四條第五條第六條第九條ニ違背シタルモノハ刑法第四百二
十六條第四項ニ依リ處分スヘ

明治十四年四月本縣甲第六拾五號布達

料理屋并ニ諸飲食店營業取締規則

第一條 料理屋并ニ諸飲食店(其種類ヲ問ハス渾テ客席ヲ設ケ酒肴ヲ供スルモノヲ云フ)ノ營業ヲ爲サント欲スル
モノハ所轄警察署又ハ分署ヘ願出免許證札ヲ受クヘ

但十五年未滿ノ者及瘋癲白痴ノ者ハ後見人ヲ定メ連署スヘ

第七條 削除(以下操上)

第十條 但書削除

明治二十年縣令

○百十

第十條 此規則第一條第二條第三條第四條第五條第六條第七條ニ違背シタルモノハ刑法第四百二十七條第八項ニ依リテ所分スルノ外尙犯狀ニ依リ行政上ノ處分ヲ以其營業ヲ停止若クハ禁止スルコトマルヘシ

明治十四年四月本縣中第六拾七號布達

溫泉乃藥湯營業取締規則

第一條 溫泉(他ノ礦泉ヲ採酌シ用ユルモノヲ云)及藥湯ノ營業ヲ爲サント欲スルモノハ其地名及泉質効能藥湯ハ明治十年第七號公布賣藥規則ニ準シ藥湯名配藥分量溫度主治等ヲ詳記シ藥湯ハ縣廳ヘ溫泉ハ所轄警察署又ハ分署ヘ願出免許證札ヲ受クヘシ

但十五年未滿ノ者及瘋癲白痴ノ者ハ後見人ヲ定メ連署スヘシ

第二條 削除(以下操上)

第十五條 此規則第一條第二條第三條第四條第六條第七條第十二條ニ違背シタルモノハ刑法第四百廿七條第八項ヲ以テ處分スルノ外尙犯狀ニ依リ行政上ノ處分ヲ以テ其

營業ヲ停止又ハ禁止スルコトマルヘシ

明治十六年一月本縣中第五號布達

煙火製造取締規則

第一條 煙火製造ヲサントスル者ハ製造所ノ構造及人家ノ距離等ヲ詳記シ圖面ヲ添ヘ所轄警察署又ハ分署經山ノ縣廳ヘ願出免狀ヲ受クヘシ

但未丁年ノ者及瘋癲白痴ノモノハ製造人タルコトヲ得ス

第十一條 此規則第一條第二條第五條第七條第八條第十條ニ違背シタルモノハ刑法第四百廿七條第八項ヲ以テ處分スルノ外尙犯狀ニ依リ行政上ノ處分ヲ以テ其營業ヲ停止又ハ禁止スルコトマルヘシ

明治十六年六月本縣中第五拾四號布達

牛乳搾取并販賣規則

第一條 乳牛ヲ畜養シ牛乳ヲ搾取販賣セント欲スル者ハ左ノ雜形ニ準シ縣廳ヘ願出許

可ヲ受テ尙所轄警察署又ハ分署へ願出免許鑑札ヲ受クヘシ

但購買者及配乳者アルトキハ其住所氏名等ヲ詳記シ其旨警察署又ハ分署へ届出ヘ

第三條 削除(以下繰上)

第八條 此規則第一條第二條第三條第六條ニ違背シタルモノハ刑法第四百廿六條第四項ヲ以テ處分スルノ外尙犯狀ニ依リ行政上ノ處分ヲ以テ其營業ヲ停止又ハ禁止スルコトアルヘシ

明治十七年十二月本縣中第百一號布達

銃砲射的場及射的演習取締規則

第一條 射的場ヲ設置シ及射的演習ヲナサントスル者ハ所轄警察署又ハ分署ヲ經由シ縣廳へ願出テ許可ヲ受クヘシ

第十八條 此規則第一條第三條第四條第六條第七條第八條第九條第十一條ニ違背シタ

ルモノハ地方違警罪第一條第一項ヲ以テ處分スルノ外尙犯狀ニ依リ行政上ノ處分ヲ以テ其許可ヲ取消シ又ハ免狀ヲ取上ルコトアルヘシ

明治十八年五月本縣中第三拾八號布達

屠牛并販肉規則

第三條 屠牛營業ヲナサントスル者ハ第一號雛形ノ願書ニ屠場ノ圖面ヲ添へ縣廳ニ願出許可ヲ受テ尙所轄警察署又ハ分署へ願出免許鑑札ヲ受クヘシ

但十五年未滿ノ者及瘋癩白痴ノ者ハ此營業人タルコトヲ得ス

第十四條 屠牛營業人ハ屠牛届ヲ毎年兩度(一月三十一日七月三十一日)第四號雛形ニ倣ヒ所轄警察署又ハ分署ヲ經テ縣廳へ届出ヘシ其屬托ニ應ジ屠殺シタル者ハ其旨ヲ附記シ且見積代價ヲ記入スヘシ

第十六條 販肉營業ヲナサントスル者ハ組頭ノ進署ヲ以テ所轄警察署又ハ分署へ願出免許鑑札ヲ受クヘシ而シテ露店若クハ行商ノ者ハ必ズ其鑑札ヲ携帯スヘシ

但十五年未滿ノ者及風潮白知ノ者ハ後見人ヲ定メ連署スヘシ又屠商ノモノ他人ヲシテ殺店行商ヲナサシムルモノハ本店主ト連署シ本條ノ手續ヲナスヘシ
第十八條 販肉營業人ハ屠牛營業人ノ外屠肉ヲ買ヒ入レ又ハ無檢印ノ屠肉ヲ販賣スルコトヲ得ス且他管下ヨリ屠肉ヲ買ヒ入レ營業セントスルトキハ其屠牛者ニ就キ本籍戶長ヘ公許營業者タルコトノ証明ヲ乞ハシメ其書面ヲ添ヘ第十五條以下ノ手續ニ從フヘシ

第二十二條 此規則第三條第四條第五條第六條第七條第八條第九條第十條第十一條第十二條第十三條第十四條第十六條第十七條第十八條第十九條第二十條第二十一條ヲ犯シタルモノハ刑法第四百二十六條第四項ヲ以テ處分スルノ外尙犯狀ニ依リ行政上ノ處分ヲ以テ其營業ヲ停止又ハ禁止スルコトアルヘシ

明治十八年六月本縣中第五十一號布達

死者取締規則

第四條 死者解剖場ヲ設置セント欲スルモノハ第一號書式ニ依リ(戶長ノ與書ヲ要セ)

圖面並四隣地主ノ承諾証相添ヘ所轄警察署又ハ分署ヲ經テ縣廳ヘ願出許可ヲ受ケヘシ

但本文ノ許可ヲ得タルモノハ左ノ形状ノ看板ヲ其入口ニ掲ケヘシ且村内限豫テ設置スル解剖場モ尙ホ本文ニ準シ願出スヘシ
用材適宜

死者解剖場	横一尺
郡(區)町(村)番地	縦二尺五寸
發行人 何 某	

第五條 死者解剖營業ヲ爲サント欲スルモノハ第二號書式ニ依リ所轄警察署又ハ分署ヘ願出免許鑑札ヲ受ケ就業ノ節ハ必ス携帶スヘシ
但十五年未滿ノモノ及癩瘋白痴ノ者ハ此營業人タルコトヲ得ス

第九條 免許鑑札ハ買賣貸借讓與スルコトヲ許サス廢業代換改氏名又ハ委任其他水火

盜難及遺失毀損等ノ異動アル場合ハ其自由ヲ詳記シ書換又ハ下渡ヲ願出或ハ返納ス
ヘシ

第十條 解剖營業人ハ第三號書式ニ準シ死者頭數簿ヲ製シ解剖ノ節ハ出張員ノ認印ヲ
受クヘシ且毎年兩度(一月十五日)迄第四條書式(第四號書式宛名所轄)ニ準シ所轄警
察署又ハ分署ヘ届出ヘシ

第十二條 死者ヲ解剖セントスルトキハ前以テ飼主及營業人連署シ第五號書式ニ依リ
所轄警察署又ハ分署若クハ交番所ニ届出指揮ヲ受テ解剖スヘシ

但死者皮骨肉腸等ハ精密剝離シ其肉ハ細斷シテ充分ニ石炭油ヲ溜キタル上ニアラ
サレハ之ヲ他ニ運搬スルコトニ許サス

第十五條 死者ハ河海原野山林等ヘ投棄スヘカラス若シ埋没セントスルトキハ其旨所
轄警察署分署又ハ交番所ヘ届出ヘシ
但警察吏ハ時機ニ依リ埋没ノ實地ニ臨檢シ又ハ其場所ヲ變便セシムルコトアルヘシ

第十七條 削除(以下繰上)

第十七條 此規則第一條第二條第四條第五條第六條第七條第八條第九條第十條第十一
條第十二條第十三條第十五條第十六條ニ違背シタルモノハ刑法第四百廿六條第四項
ヲ以處分スルノ外何ホ犯狀ニ依リ其許可ヲ取消シ又ハ營業ヲ停止若クハ禁止スルコ
トアルヘシ

○縣令第四拾七號 九月四日

明治十九年(九月)縣令第拾二號銃獵人取締細則左ノ通改正シ本月十五日ヨリ實施ス

銃獵取締細則

第一條 銃獵トハ明治十年(一月)第十一號公布ニ法トリ職獵獵及威銃空砲ヲ發シ有害
若クハ臨時銃 有害ノ鳥獸ヲ 銃殺スルモノ等ヲ總稱ス

第二條 職獵獵及威銃臨時銃獵ノ爲サント欲スルモノハ第一號第二號書式ニ依リ所轄
警察署又ハ分署ニ願出免狀ヲ受クヘシ

但職遊獵ノ許可ヲ得タルモノハ成規ノ手續ニ依リ郡區役所へ税金上納ノ上免狀申請クヘシ

第三條 前條ノ許可ヲ得タルモノ期限内免狀ヲ遺失毀損シ若クハ水火盜難ニ係リタルキハ所轄警察署又ハ分署へ願出再渡ヲ乞フヘシ

但職遊獵ハ成規ノ手数料ヲ納メ免狀申請ルコト前條但書ノ例ニ依ルヘシ

第四條 威銃及臨時銃獵ハ他ニ除害ノ術ナキトキニ限リ三月以内之レヲ許可スルモノトス故ニ其期限ヲ經過シタル免狀ハ直チニ之ヲ返納スヘシ尤モ臨時銃獵ハ威銃ヲナシ更ニ除害ノ効ナキトキ其被害ノ狀況ニ據リ萬止ムヲ得サルモノニ限リ特ニ其許可ヲ與フヘシ

第五條 威銃及臨時銃獵ハ豫メ其場所ヲ限リ出願許可ヲ受クルヲ以テ濫リニ其他ノ場所ニ於テ發射スヘカラス

第六條 臨時銃獵ノ許可ヲ得銃殺シタル鳥獸ハ其鳥獸名等ヲ詳記シ所轄警察署又ハ分

署へ届出点檢ヲ受クヘシ

第七條 此細則第二條第四條第五條第六條ニ違背シタルモノハ違警罪トナシ一日以上三日以下ノ拘留ニ處シ又ハ貳拾錢以上壹圓ニ拾錢以下ノ科料ニ處ス尙情狀ニ依リ免狀ヲ引揚ルコトアルヘシ

第一號 職(遊)獵規則

何國何郡(區)何町(村)番地住(寄留)

身分職業戶主(其二三)男(寄留人ハ本籍ヲ併記スヘシ以下全シ)

何 某

年 齡

私儀明治十年(一月)公布鳥獸獵規則ヲ遵奉シ(所持ノ獵銃玉目何枚(西洋形散彈銃)ヲ以テ)(何國何郡(區)何町(村)某所持ノ獵銃ヲ借受テ職(遊)獵致度尤モ該規則第七條ニ抵觸ノモノニ無之候間免狀御下附被下度此段奉願候也

年月日 右 何 某 印

何警察署又ハ分署宛

第二號 威銃(臨時銃獵)願

何國何郡(區)何町(村)何番地住(寄留)

身分職業戶主(某二(三)男)

何 某

年 齡

右ハ近來何々鳥獸(私所有ノ何郡村字何々所在ノ田畑ヲ害シ)(人家ニ來リ人畜ヲ害
ヒ)候ニ付(獲キニ威銃免許ヲ得除却方盡力致候得共更ニ實効無之)(種々除却ノ方法
相設ク候得共更ニ其効無之)依テ所持ノ獵銃 第一號書式ニ依 (何國何郡(區)何町(村)
某所持ノ獵銃ヲ借受)威銃(臨時銃獵)致度候間免狀御下附被下度(以下第一號書式ニ

全)

○縣令第四拾八號 九月六日

明治十八年十二月本縣中第百二拾六號達ハ自今廢止ス

但左ニ掲ケル願届ハ警察署又ハ分署ニ差出スヘシ

一 相撲其他(興業)願

一 往來止日覆招牌硝子燈望火櫓及仮用等建設願

一 迷死乘死行倒失踪之丐浮浪無籍者等ニ關スル願届

一 臨時市場開設願

一 神佛祭禮開帳等ニ關スル願届

一 驛傳營業願(陸運簡負業ヲ除ク)

○縣令第四拾九號 九月九日

陸軍在郷兵非常召集之節使用スル脚夫通行ノ陸渡船橋梁及驛傳取締所ニ於テ左之通心

得ヘシ

一第一充員第二充員後備軍等召集之節本縣廳又ハ郡區役所戸長役場ニ於テ使用スル脚夫ハ左ノ離形ノ如キ木牌夜間ハ別ニ其廳衙名ヲ標記ヲ携帯セシムルヲ以テ渡場等ニ於テハ勉メテ其通行ヲ自由ナラシムヘシ且此脚夫ニ對シテハ渡船賃又ハ橋賃等ヲ請求スルヲ得ス

一夜間渡渉ヲ停止スル場所ト雖召集發令ノ際脚夫ノ通行ニ差支ナキ様平素準備スヘシ
一脚夫途中ニ於テ疾病ニ罹リ歩行スルコト能ハヌ驛傳取締所ニ就キ代人差立方ヲ請求スルトキハ速ニ其求ニ應ジ延滞ノ憂ナカラシムヘシ

木牌離形

三寸五分

燒印

表
第 號
召集御用脚夫

裏

.....
廳 衙 名

○縣令第五十號 九月二十一日

明治十九年度地方稅收入不足補充額追徵臨時縣會ノ議決ヲ經テ左ノ通相定ム

明治十九年度地方稅收入不足補充額追徵

一金壹万五百四拾圓五拾五錢

戸 數 割

低戸數貳拾壹万八百拾壹戸壹戸ニ付金五錢

○縣令第五拾壹號 九月二十三日

本年(八月)縣令第四拾五號二十年度地方稅非常費及ヒ本年(九月)縣令第五拾號十九年度地方稅收入不足共徵收期限左ノ通相定ム

明治二十年度地方稅非常費收入追加ノ分

一地租壹圓ニ付金三錢四厘八毛七二三七九六

二十年十月三十一日限徵收

明治十九年度地方稅收入不足補充額追徵ノ分

一戸數壹戸ニ付金五錢

二十年十月十五日限徵收

明治二十年縣令

○百十七

○縣令第五拾貳號 九月廿七日

本年(六月)縣令三拾八號所得稅調查委員選舉及ヒ委員會細則附則改正 (原註訂正)

○縣令第五拾三號 十月七日

明治十七年(九月)當縣中第六拾八號布達酒造營業人心得書第三十二項左ノ通更正ス

酒造營業人心得書

第三十二項 検査員携帶ノ造石検査簿ハ醗釀製酒等検査ノ都度記入スル者トス營業入

ハ副印トシテ之ニ副印スヘシ

○縣令第五拾四號 十月七日

昨十九年(八月)農商務省令第九號ニ據リ蠶種検査取扱手續左之通相定ム

蠶種検査規則取扱手續

第一條 蠶種検査規則第一條ニ據リ下付スル鑑札ハ製造鑑札ト販賣鑑札ヲ區別スヘシ

第二條 販賣ノ爲メ外出スルトキハ必ス販賣鑑札ヲ携帶スヘシ

第三條 家族又ハ雇人ヲシテ販賣ノ爲メ外出セシムルモノハ戶主ヨリ願出其名當ノ鑑札ヲ受クヘシ

第四條 夏秋蠶原種ノ検査ハ毎年十月一日ヨリ製糸用種ニ係ルモノハ六月一日ヨリ施行ス

第五條 検査所ノ位地ハ左之通相定ム

但時宜ニ據リ巡回検査セシムルコトアルヘシ

岡山區岡山

西北條郡津山

上房郡高梁

第六條 蠶繭製造人ニ於テハ検査施行期日迄ニ便宜ノ検査所へ蠶種ヲ差出検査ヲ受ク

第七條 蠶種ノ検査ハ顯微鏡ヲ以テ微粒子ノ有無ヲ檢シ左表ニ據リ病毒ノ歩合ヲ定ム

視察中微粒子ヲ目撃セル同
 同同同同同同同同同
 一九八七六五四三二一數

百分中ノ歩合即チ視察中
 ノ同數ニニヲ乘ンタルモ

二〇八六四二〇八六四二

原種

使用ニ適スルモノ

製糸用

使用ニ適スルモノ

以下廢棄スヘキモノ

第八條 摺製蠶種ニシテ毎區劃ト親蛾トハ符号ヲ付シ差出スモノハ其親蛾ヲ顯微鏡ニ照シ若親蛾ヲ添付セサル者ハ每區ノ卵子ヲ檢シ無毒ナルモノヘハ甲印証印ヲ有毒ナルモノヘハ乙印証印ヲ其區劃内間際ノ部ニ押捺スヘシ

甲印 検査証印朱文字 原種用 圓形 徑三分

乙印 廢棄証印墨文字 廢棄 長方形 長三分 巾二分

第九條 一枚ノ蠶種ヲ截斷シテ販賣セントスルモノ豫メ其裏面ニ截斷スヘキ區畫ノ線查ヲ付シ差出タルトキハ其區畫毎ニ証印ヲ押捺スヘシ

第十條 蠶種ノ名稱ヲ誤リタルモノト認定スルトキハ其裏面ニ該當ノ種類ヲ明記シ檢証印ヲ押捺スヘシ

第十一條 検査所ニ於テ請取タル蠶種ハ天災其他ハ避ケ可ラサル場合ニ據リ毀失セルトキハ其責ニ任セス

第十二條 第一條第三條ニ據リ下付スヘキ鑑札及検査証印廢棄証印ハ左ノ如シ

鑑札用紙麻皮製
 曲尺三寸五分

第何號

表面
 蠶種製造(販賣)鑑札
 明治何年何月何日
 岡山縣印

裏面

住所氏名
 (家族雇人ハ戸主雇主ノ氏名ヲ肩書ニ加フ)
 勘印

明治二十年縣令

百十九

原種検査証印字体様書

製系用種検査之証字体全上

徑曲尺一寸五分

岡山縣原種
検査之証

縱曲尺一寸

橫曲尺一寸

岡山縣製系用種
検査之証

廢棄之証字体楷書

縱曲尺一寸
橫曲尺五分

岡山縣
廢棄之証

○縣令第五十五號 十月廿五日

明治十九年(十二月)岡山縣令第貳拾三號第一章第二章第四章中左之通改正追加削除ス

第一章 小學校設置廢止規則

第十一條 但書中某町村ノ下「小學簡易科」ヲ簡易小學校ト改正ス

第二章 學齡兒童就學規則

第四紙 一 一家貧乏ノ者ノ次へ

一 父母疾病ニ罹リ他ニ看護ノ人ナキモノ

一 學校距離遠隔ノモノ

右二項ヲ追加ス

第四章 小學校資金取扱規則

第六條 每三ヶ月報告翌月「五日」迄トアルヲ十五日迄ト改正及ヒ別紙表式乙號丙號中

準訓導給料并ニ督業費ノ欄ハ削除ス

○縣令第五拾六號 十一月二日

社寺ニシテ若シ其社殿堂宇等祭祀法用ニ必要ナル部分公賣處分ヲ受ケタル場合ニ於テハ該處分ノ日ヨリ百日以内ニ再建ノ方法ヲ立テ關係者連署寺院ハ管長副書ヲ以テ届出ルモノニ限リ建築ノ爲メ滿ニ十年ノ猶豫ヲ與フヘシ百日ヲ經テ再建ノ方法ヲ不申出又

明治二十年縣令

二百十五

ハ臨檢官吏ノ檢印ヲ受クヘシ此檢印ナキモノハ何人ト雖トモ賣買授受スルコトヲ許
サス

○縣令第六拾號 十一月廿三日

明治十九年(十二月)岡山縣令第貳拾三號町村立小學校規則中第五章第七條ニ左ノ但書
ヲ追加ス

但本文手数料ハ願下ヲナシ若クハ試驗ニ應セサルトキト雖トモ之ヲ還付セサルモノ
トス

○縣令第六拾壹號 十一月廿三日

明治二十年三月岡山縣令第拾三號岡山縣小學校々則第一章通則第一條中追加(原註訂
正)

○縣令第六拾貳號 十一月廿七日

備前國 美作國

馬匹徵發手續左ノ通制定ス

馬匹徵發手續

第一條 徵發スヘキ馬匹(乘馬駄馬駕馬)ハ年齡五以上十六歲未滿ニシテ左ノ各項ニ
適スルモノニ限ル

但年齡ハ生年ヲ一歲トシテ計算スルモノトス

一 乘馬ハ身幹四尺五寸以上(曲尺)ニシテ現在乘馬ニ役スルモノ又ハ曾テ乘馬ニ役
セシモノ

二 駄馬ハ身幹四尺三寸以上ニシテ現在駄馬若クハ耕馬ニ役スルモノ又ハ曾テ駄馬
若クハ耕馬ニ役セシモノ

三 駕馬ハ身幹四尺五寸以上シテ現在駕馭ニ役スルモノ又ハ曾テ駕馭ニ役セシモノ

第二條 戶長(岡山區ハ戶長以下之ニ同シ)ハ前條ニ適スル馬匹ヲ取調ヘ毎年一月一日
現在ヲ以テ第一書式ノ合格馬匹表ニ通シ作り同月廿日迄ニ郡長ニ差出シ郡區長之ヲ
取纏メ一通ハ其郡區役所ニ留メ一通ハ同月三十一日迄ニ管廳ニ差出スヘシ

明治二十年縣令

百廿二

第三條 田師ニ當徴發スヘキ馬匹ノ員數ハ毎年三月鎮守司令官ノ通知ニ從ヒ各郡區合格馬匹ノ數ニ應シテ郡區長ニ示スヘキヲ以テ郡長ハ更ニ之ヲ各町村ニ割テ戶長ニ達スヘシ

第四條 戶長前條ノ達ヲ受テタルトキハ其所轄内合格馬匹ノ中ニ就キ抽籤ヲ以テ徴發ニ應スヘキ馬匹ヲ定メ其旨ヲ當籤ノ各馬主(馬匹ノ飼養者)ニ達シ置クヘシ

抽籤ノ法ハ例ヘハ合格馬匹十頭ニシテ徴發スヘキ馬匹五頭ナレハ第一番ヨリ第十番マテノ籤ヲ製シ第五番以上ノ籤ヲ抽キタル者ヲ以テ當籤トス若シ他日徴發馬匹ニ不足キ生スル片ハ第六番ヨリ以下順次採取スヘシ

第五條 戶長ハ前條ニ據リ指定シタル馬匹ヲ取調第一書式ニ據リ徴發馬匹表三通ヲ製シ毎年三月三十一日迄ニ郡長ニ報告シ郡區長之ヲ取纏一通ハ其郡區役所ニ留メ他ノ三通ハ四月十日迄ニ當廳ニ差出スヘシ

第六條 戶長第四條ノ手續ヲ了シタルトキハ第二書式ノ馬主馬匹名簿ヲ作り其役場ニ

備置キ異動アル毎ニ訂正シ若シ馬匹ノ數ニ不足ヲ生スルトキハ他ノ馬匹ヲ以テ填補スル等常ニ遺漏ナカラシムヘシ

第七條 前條馬匹ノ數ニ不足ヲ生シ他ニ填補スヘキ馬匹ナキトキハ之ヲ郡長ニ開申シ郡長ハ之ヲ他ノ戶長ニ達シ填補セシムヘシ

但前條及本條ニ據リ填補シタルトキハ其旨ヲ馬主ニ達シ置クヘシ

第八條 第四條及第七條但書ノ達ヲ受テタル馬主ハ其身上(轉居又ハ飼養者變更スル等)又ハ馬匹ニ異動ヲ生スルトキハ三日以内ニ戶長ニ届出マヘシ

第九條 馬匹ノ徴發ハ充員召集ト同時ニ郡區長ニ達シ郡長ニ達スルモノトス

第十條 戶長前條ノ達ヲ受テタルトキハ其所轄内ニ於テ兼テ定ムル所ノ馬主ニ命シテ馬匹及輓具車輪鞍鞍具ト共ニ第二書式ノ馬主馬匹名簿ヲ添ヘ馬匹差出所ニ率行セシムヘシ

第十一條 馬匹率行ヲ命セラルタル馬主ハ其命ヲ受タルトキヨリ十二時以内ニ出發シ

一日八里節(八里ヲ以テ最下限トス)ヲ以テ馬匹差出所ニ率行スヘレ
 第十二條 馬匹差出所ハ廻路營所練兵場トス
 第十三條 率行シタル馬匹并諸器具屬具ハ差出所ニ於テ領事司令官定ムル所ノ馬匹受領委員之ヲ檢査シ買上借上ニ區分シテ其價ヲ評定シ買上ハ第三書式借上ハ第四書式ノ証票ヲ馬主ニ交付スルモノトス
 第十四條 買上証票ヲ受領シタル馬主ハ之ヲ其所轄戸長ニ差出シ戸長ハ其所轄内ノ分ヲ取纏メ郡長ニ差出シ郡區長ハ之ニ代價請求書ヲ添ヘ當廳ヲ經テ鎮臺監督部ニ送付シ其代價ヲ受領シ戸長分付シテ馬主ニ下付セシメ各自受領証書ヲ徵シ當廳ヲ經テ鎮臺監督部ニ送ルヘシ
 第十五條 借上馬匹ノ賃金ハ馬匹返付ノ後第十四條ノ手續ヲ履ミ下付スルモノトス
 第十六條 駕馬受領委員ニ於テ檢査ノ上不適合ト認メタル馬匹ハ徵發事務條例第四十五條第二項ニ據リ處分ス

第十七條 馬匹徵發ハ第九條ニ示ヌ如ク充員召集ト同時ニ行フモノナルヲ以テ郡區役所戸長役場ニ在テハ平素之ニ對スル準備ヲ爲シ發令ノ際遲滯ノ憂ナカラシムヘシ
 第一書式 (用紙美濃白紙)

明治二十年縣令
 〇百廿二號

年 齡	何 村	何 村	何 村	何 村	合 計
五 歲	乘馬	駕馬	馬	馬	
六 歲	牝	牝	牝	牝	
七 歲	牝	牝	牝	牝	
八 歲	牝	牝	牝	牝	
九 歲	牝	牝	牝	牝	
十 歲	牝	牝	牝	牝	

明治二十年縣令
 〇百廿二號

年月日

何 某 印

○馬主年齡并出發時日等ハ實際ニ臨ミ記入スルモノトス

第三書式

買上証票

一乘(輓)(駄)馬何號

價 何 圓

一全

全

何府(縣)何國何郡(區)何町(村)何某所有

一輓其車輪(駄鞍)屬具

價 何 圓

何府(縣)何國何郡(區)何町(村)何某所有

右正ニ買上候也

年月日

受領委員長 何 某 印

第四書式

借上証票

一乘(輓)(駄)馬何號

何 頭

何府(縣)何國何郡(區)何町(村)何某所有

一輓其車輪(駄鞍)屬具共

右正ニ借上使用濟ノ上ハ直ニ返却スヘシ

但借上賃金ハ日數ニ據リテ精算シ馬匹返却ノ後之ヲ下付スヘシ

年 月 日 受領委員長 何 某 印

○縣令第六拾三號 十二月八日

本年(一月)縣令壹號廢止(原簿訂正)

○縣令第六拾四號 十二月十八日

當縣々會議員中改撰スヘキ人員左之通ニ付來ル二十一年一月中右擧舉會ヲ開ク
但開會期日場所等ハ該郡長ヨリ公告スヘシ

明治二十年縣令

○百廿六

磐梨郡	壹人	邑久郡	貳人
兒島郡	壹人	都宇郡	壹人
窪屋郡	貳人	淺口郡	壹人
後月郡	貳人	賀陽郡	貳人
上房郡	壹人	川上郡	壹人
哲多郡	壹人	阿賀郡	壹人
真島郡	貳人	大庭郡	壹人
西北條郡	壹人	東北條郡	壹人
勝北郡	壹人	吉野郡	壹人
勝南郡	壹人		

○縣令第六拾五號 十二月廿七日

諸車ニ開スル願届手續自今左ノ通相定ム

第一項 系統車ヲ普通ノ用途ニ供使セント欲スルモノハ郡區役所(郡役所へハ戶長役場ヲ經山スヘシ)以

下向)へ願出普通車ノ檢印ヲ附フヘシ

第二項 馬車壹匹立ヲ貳匹立ニ兼用スルモノハ豫テ郡區役所ニ届出馬車貳匹立ノ檢印ヲ受ヘシ

第三項 荷積車ニシテ普通荷臺ノ外別ニ積載ノ場所ヲ架設シ其坪數ヲ増加シテ使用スル其大車ト共ニ郡區役所へ届出檢印ヲ受クヘシ

第四項 車体ノ檢印等ヲ磨滅毀損シ若クハ左ノ場合ニ係リタルトキハ速ニ郡區役所ニ届出檢印ヲ附レヘシ

一車類ヲ變更シタルトキ

一馬車馬ノ匹數ヲ増減シタルトキ

一車ニ修繕ヲ加ヘ人力車乘臺ノ横巾荷積車ノ坪數等増減ヲ生シタルトキ

第五項 車ヲ解撤シ又ハ之ヲ亡失シ若クハ改姓名代換轉居シタルトキハ其始末ヲ詳記

ノ速ニ郡區役所ニ届出ヘシ

第六項 車ヲ(賣讓)渡シタルトキハ其(買讓)受人ト連署ノ上郡區役所ヘ届出ヘシ

其(買讓)受人ト郡區役所ヲ異ニスルトキハ連署ヲ以テ仍ホ其(買讓)受人ノ郡區役所ヘ届出ヘシ

○縣令第六拾六號 十二月廿七日

明治十八年(六月)當縣甲第五十四號布達醬油製造營業人心得書第七項中第三號書式別紙ノ通更正シ左ノ第廿六項ヲ追加ス

第廿六項 營業者ハ毎年一月一日現在ノ製成醬油及ヒ買入醬油石數ヲ第七號書式ニ倣

ヒ該月五日限リ其區租稅檢査派出所ヘ届出ヘシ

第三號

醬油製造方法御届

何國何郡(區)何町(村)番地

免許鑑札番號

製 造 場

醬油製造方法

仕 込

一 實物何石 (豆壹石ニ對スル石數ニ依ルヘシ)

内 豆壹石

麥何石

一 摺何石何斗

一 水何石何斗

此 醪 何石何斗

但實物一石ニ付何石何斗

此 熟成醪何石何斗

但滿何ヶ月ニ至リ仕込醪ヨリ何割何分減ノ見込

製 成

明治二十年縣令

〇百廿八

一 壹槽搾膠何石何斗

内元膠何石

混和 何々何程
何々何程

外混和

何々何程

何々何程

(搾り立ノ際混和品アルモノハ内書ニ又搾上ケ火入ノ際混和品アルモノハ外書ニ記
載スヘシ)

此製成醬油何石何斗

(膠熟成ノ模様及壓搾ノ都合ニ依リ多少増減アルモノハ其旨但書ニ附記スヘシ)

(右ノ外製成法ノ異ナルモノハ總而此例ニ倣ヒ列記シ甲乙丙ノ號ヲ附スヘシ)

中醬油

一 醬油搾粕凡何拾何貫目

但第一搾リ何番粕一槽分

一 鹽何石何斗

一 水何石何斗

此粕澆

第二 何番粕一槽分凡何拾何貫目

第三 何番粕一槽分凡何拾何貫目

(生膠何斗)
(粕澆ノ度數ニ應ヒ順次記載スヘシ)

此生汁 何石何斗

外混和

何々何程

何々何程

此製成醬油何石何斗

(製成ノ摸樣ニ依リ多少増減アルモノハ其旨但書ニ附記スヘシ)

(右ノ外製成法ノ異ナルモノハ總而此例ニ倣ヒ列記シ甲乙丙ノ號ヲ附スヘシ)

右ハ本年ニ於テ醬油製造之方法前書之通ニ有之候自然右方法ニ増減變更等仕度節ハ其時々速ニ御届可仕候依テ此段御届申上候也

何國何郡(區)何町(村)番地

醬油製造營業人

年月日

何 某 印

戶 長 何 某 印

岡山縣知事何某殿

郡區長與書

第七號

醬油現在石高御届

何國何郡(區)何町(村)番地

醬油製造營業人

何 某

一製成醬油何石何斗

丙 上醬油何石何斗

中醬油何石何斗

一買入醬油何石何斗

丙 上醬油何石何斗

中醬油何石何斗

右本年一月一日現在石數書面之通ニ有之候此段御届仕條也

右

年月日

何某印

岡山縣第何區租稅檢査員御中

○縣令第六拾七號 十二月廿八日

本年(三月)縣令第拾三號中小學校假教科書配當表ノ内滿史簡覽國史學習字手本ハ來ル
明治二十一年(一月)學期ノ初ヨリ相廢止左表ノ教科書ハ郡區長ノ指定ニ依リ最下ノ學
級ヨリ之ヲ用ヒ漸次各學級ヲシテ新舊交換セシムヘシ

學科	修身	讀書	作文	習字	算術		地理	歷史	理科	圖畫	裁縫	英語	農業	手工	商業	唱歌	體操
					珠算	筆算											
尋常小學教科書配當表																	
第一學年		讀書入門 尋常小學讀本 普通讀本 同掛圖 日本讀本 日本讀本 新體讀方書			尋常小學習字本 新撰習字本 尋常科	小學算術書											
第二學年		普通讀本 日本讀本 新體讀方書 尋常小學讀本			同上	同上											
第三學年		同上 同上 同上 △同上			同上	同上	珠算全書 珠算用法 加算 減算			小學習字帖 小學練習帖 小學書手本							
第四學年		同上 同上 同上 △同上			同上	同上	乘算 除算 雜題 度量衡貨幣			同上 同上 同上							
第一學年		高等普通讀本 科用普通讀本 增訂小學讀本 △高等小學讀本		高等小學習字本 科用上 高等科	同上				新撰理科書一上下 △高等理科教科書一	同上 同上 同上	△正則英文讀本				小學唱歌集		
第二學年		同上 同上 △同上		同上 同上	同上			國史紀用 △高等小學歷史	同上 同上	同上 同上 同上	同上 同上	△同上 農業初步 新撰農業書			同上		

表中△印ヲ付スルモノハ未列

岡山縣布達全要

○達甲號 明治廿年之部

○達甲第壹號 一月十一日

郡區役所

明治十九年(十月)岡山縣告示第三拾七號陸軍召集條例第十四機式召集旅費概算表ハ現員ノ十分ノ三ヲ加ヘ調査スヘシ

但本文十分ノ三ニ當ル人員ノ旅費金ハ現員中最遠隔ノ者ニ均シキ額ヲ以テ算スヘシ

郡區役所

○達甲第二號 一月二十一日
本年(本月)當縣令第四號ヲ以テ改定シタル獸醫仮開業免狀下渡出願規則ニ基キ該免狀ヲ得ソコトヲ願出ル者アルトキハ實際獸醫缺乏ノ土地ニ限リ區域ヲ定メ其地勢廣狹牛馬頭數左ノ書式ニ據リ詳細取調具狀書ヲ添ヘ本人ノ願書及ヒ履歷書ト共ニ進達スヘシ
但客年(六月)當縣令第五拾四號達ハ廢止ス

獸醫仮開業區域取調書式

明治二十年達甲號

○百廿二

獸醫仮開業出願書取調書

住所

族籍

氏名

年月生

營業區域

區域内地勢

同 廣狹

同 牛馬頭數

營業年限 何ヶ年

開業獸醫居住地ヨリ仮開業獸醫營業區域境界マテノ最近距離 何里

○第甲第三號 一月廿八日

郡區役所

今般内務所省ヨリ訓令ノ趣モ有之賣藥營業者ニシテ昨十九年三月以前許可シタル賣藥取調ノ儀有之ニ依リ左ノ雜形ノ通該營業者ヨリ爲届出郡區役所ニ取纏來ル二月二十日迄ニ指山スヘシ

賣藥方劑書田雜形

一方名 何年何月日許可
第 何 號

一藥味分量

一製法

一用法

一功能

右之通相違無御座候也

何國何郡(區)町(村)番地

何ノ誰印

年月日

明治二十年第甲號

〇百冊三

○達中第四號 二月三日

郡區役所

第一部歳入徴税令書徴税額表及第一部歳入報告書ニ収納區分記載等ノ儀左ノ通定メラ

一 徴税令書書式中明治何年第何期分トアル欄内ニ記載スヘキ収納區分ハ別表ニ據リ之
レヲ記載スヘシ

一 徴税額表及歳入報告書ニ収納區分ヲ記載スルニハ前項徴税令書ニ記載ノモノト同一
タルヘシ

一 新規營業等ニテ豫定納期外臨時収入ニ係ルモノト雖モ別表収納區分ニ據リ記載シ徴
税令書ヲ發セシ年度ニ編入整理スヘシ

一 前項新規収入ニ係ルモノヲ徴税額表及歳入報告書ニ編入シタルトキハ摘要欄内ニ新
規トシテ其金額ヲ附記スヘシ

一 廢業等ニテ豫定納期外臨時収入ニ係ルモノハ其ノ現収スヘキ當該期
(月數ヲ以テ徴
收スルモノハ

其月數ヲ)ヲ記載シ徴税令書ヲ發セシ年度ニ編入整理スヘシ

但酒造税ニ於テ十月ヨリ翌年三月迄醬油税菓子税ニ於テ一月ヨリ三月マテニ廢業
セシモノニ係ル収入ハ前年ノ末期分ニ編入整理ス可シ

一 土地買上等ニヨリ月割ヲ以テ収入スヘキモノハ其月數ヲ徴税令書ニ記載シ市街宅地
租ハ該納期ニ編入其他ハ最近ノ納期(四月中州租ヲ收入スルトキハ第一期(田)ニ編
入整理スヘシ)

但一月ヨリ三月マテニ屬スル地租ヲ出納開始以前ニ收入スヘキ場合ニ於テハ田租
ハ前年ノ第五期市街宅地租ハ前年ノ后半年分ニ租ノ類ハ前年ノ第二期ニ編入整
理スヘシ

一 過年度ニ屬スル収入ハ徴税令書ニ所屬曆ヲ記載シ其徴税令書ヲ發セシ年度ニ編入
整理スヘシ

内 國 税 収 納 區 分 表

明治二十年達中號

○百卅四

煙	草	稅	賣	藥	稅	船	稅	車	稅
仲買營業	營業	營業	營業	營業	營業	營業	營業	營業	營業
札料	札料	札料	札料	札料	札料	札料	札料	札料	札料
再渡及書換	再渡及書換	再渡及書換	再渡及書換	再渡及書換	再渡及書換	再渡及書換	再渡及書換	再渡及書換	再渡及書換
同前半年分	同後半年分	同隨時收入	同隨時收入	同隨時收入	同隨時收入	同隨時收入	同隨時收入	同隨時收入	同隨時收入

度	量	衡	稅	牛馬賣買免許稅	統獵免許稅
尺	度	度	稅	免狀	免狀
權	權	權	權	權	權
同前半年分	同後半年分	同後半年分	同後半年分	同後半年分	同後半年分

○達甲第五號 二月四日

賣藥印紙交換取扱手續左ノ通相定ム

第一項 明治十九年(七月)大藏省令第二十三號賣藥印紙交換規則ニ依リ該印紙ノ交換ヲ請フモノハ自今營業場所所在ノ郡區役所ニ於テ該規則ニ照シ交換スヘシ

第二項 他府縣下ノ賣藥營業者ニシテ當縣下各地へ配置シタル賣藥ノ印紙交換ヲ求メト欲シ便宜ノ爲其配置先ノ郡區役所へ該藥毀却ノ証明ヲ請フモノアルハ其役所ニ於テ証明ヲ與フヘシ

明治二十年達甲號

百卅六

第三項 前項証明ヲ請モノハ賣藥ノ種目價數及印紙ノ種類價額ヲ仕譯シタル願書三通ヲ出サシメ其既貼印紙ヲ消印又ハ切斷シタル後該願書ニ檢了ノ旨ヲ証明シ其一通ヲ當縣廳ヘ回送シ他ノ一通ヲ願主ヘ下付シ餘ノ一通ヲ其役所ヘ保存スヘシ

但該却証明ヲ與フルモノハ其一口ノ印紙價額金拾圓ヨリ少カルベカラス又規則第二條ニ觸ル、モノハ証明ヲ與フベカラス

第四項 當縣下ノ賣藥營業者ニシテ他府縣ニ於テ賣藥毀却ノ証明ヲ受タルモノ營業場所在地ノ郡區役所ヘ新印紙ノ交換下付ヲ出願スルキハ證明地ノ管廳ヨリ豫テ回付シアル證書ニ照ラシ相當印紙ヲ下付スヘシ

第五項 當縣下甲郡區ノ營業者ニシテ乙郡區内ヘ配置シタルモノヲ乙郡區役所ニ於テ毀却ノ証明ヲ請ヒ甲郡區役所ヘ交換下付ヲ願出ルモノモ前項ニ依リ取扱ベシ

第六項 交換下付シタル印紙ハ明治十九年(七月)當縣下第七十二號達印紙額計算表樣式第十四號賣藥印紙受排計算表中排ノ部延納區番ノ次ヘ(交換)ノ一番ヲ設テ排立ツ

○達甲第六號 二月八日 郡區役所

客年(二月)當縣下第拾四號達諸表樣式報告ノ部第三十號菓子製造賣上金高報告樣式付屬トシテ別紙人員報告表ヲ追加ス

但客年自七月分ハ來ル二十五日限リ差出スヘシ

明治何年 自一月(自七月)至六月(至十二月)菓子製造賣上金高人員報告表

區別人員	區別人員	區別人員	區別人員	區別人員
三拾圓以上 未滿 何拾人	四拾圓以上 未滿 何拾何人	五拾圓以上 未滿 何人	六拾圓以上 未滿 何人	七拾圓以上 未滿 何人
七拾圓以上 未滿 何拾人	八拾圓以上 未滿 何拾何人	九拾圓以上 未滿 何人	百圓以上 未滿 何人	百拾圓以上 未滿 何人
八拾圓以上 未滿 何拾人	九拾圓以上 未滿 何拾何人	百圓以上 未滿 何人	百拾圓以上 未滿 何人	百貳拾圓以上 未滿 何人

明治二十年 第百廿七號

件前々年度末ノ現數ノ標準トスヘシ

第二項 製造品賣買高若クハ人民ノ行爲ニ賦課スルモノ 諸印紙稅諸物品及賣買所ハ得ノ高ニ課スル稅租ノ類

前々年度以前三ヶ年度實收ノ平均額ヲ標準トスヘシ

第三條 第一號書式事由欄内ヘハ第二條第一項第二項ノ標準額ヲ掲ケ及ヒ前年度豫算額ニ對シ増減ヲ生スルモノハ其理由ヲ記スヘシ (本年豫算第二十號ヲ以テ改正)

第四條 項ノ目ノ金額第二條第一項ノ分ハ四捨五入ノ法ニ依ラス切上ケ圓位ニ止メ第二項ノ分ハ四捨五入シテ圓位ニ止ムヘシ

第五條 豫算額ニ對シ毎月増減ノ有無ヲ調査シ増減アル片ハ其事由ヲ詳悉シ第四號書式ニ依リ報告書ヲ製シ翌月三日迄ニ郡區役所ヲ發シ報告スヘシ

但増減無之分ハ其旨同日迄ニ報告スヘシ

第六條 前項増減ハ翌四月分ヨリ報告スヘキモノニシテ前年豫算書進達ノ月即チ五月ヨリ翌年三月迄ノ間ニ於テ増減ヲ生セン分 豫算額ニ若干ノ増減有之片ヲ見込加除セシ高ニ異動アル分

ハ四月分ニ取纏ノ報告スヘシ

○達甲第八號 二月十九日

郡區役所

(書式ハ器之)

明治十八年(二月)陸軍省達甲第六號ヲ以テ達セラレ候屯田兵志願者心得書中給與品ノ自今召募ノ者ニ在テハ第十一項農具及第十三項食料ハ別紙ノ通支給相成種物現品ヲモ給與相成ベク管ニ之レアルベク旨其筋ヨリ通牒有之ニ付現今志願書差出シ居候者ハ示シ置クヘシ

一農具ハ現品ヲ以テ左ノ如ク支給ス

一鐵 大 小	各 一 挺
一唐 鐵	各 一 挺
一砥 荒	各 一 挺
一砥 中	各 一 挺
一山 刀	各 一 挺
一鑑	各 一 挺

明治二十年達甲號

○百廿九

一 鐺 一 挺
 一 餅 大 小 各 一 挺
 一 餅 柴 刈 刈 二 柄
 一 筵 十 枚
 一 籠 籠 共 廿 枚
 一 麻 板 板 共 一 個
 一 培 發 桶 一 個
 一 食料ハ飯料及鹽菜料ノ二種ニ分テ給助年間家族ノ人員ニ應テ左ノ割合ヲ以テ之ヲ支給ス
 一 米 七 合 五 勺 十五歲以上及六十歲未滿ノ者一人一日分
 一 全 五 合 六十歲以上十五歲未滿七歲迄全上
 一 全 三 合 七歲未滿全上

一 金 壹 錢 五 厘 十五歲以上及六十歲未滿ノ者一人一日分
 一 全 壹 錢 六十歲以上及十五歲未滿七歲迄全上
 一 全 七 厘 七歲未滿同上
 但給助年限妻ヲ娶ルカ或ハ出產スルトハ其當日ヨリ妻又ハ子へ夫又ハ父ノ給助年限中本文ノ米金額ヲ給ス又之ニ反シテ家族ノ内分籍別居スルカ又ハ官民ヲ論セス他ヨリ給料ヲ受クル者ニハ當日ヨリ扶助米金ヲ給セス
 一 種 物 ハ 現 品 ヲ 以 左 ノ 如 ク 支 給 ス
 一 麻 仁 一 斗
 一 大 麥 一 斗
 一 小 麥 一 斗
 一 大 豆 一 斗
 一 小 豆 五 升

一馬鈴薯 四升
一蠶卵紙 四半枚

○達甲第九號 二月廿八日

郡區役所

本縣統計材料調査様式別冊ノ通相定係條爾後右様式ニ準據精覈取調毎年三月三十一日限リ縣廳へ差出スヘシ

但十九年分ニ限リ來ル五月末日迄ニ調査進達スヘシ

郡區役所

○達甲第十號 三月一日
明治十九年度地方稅中縣會議費衛生及病院費教育費縣監獄費縣監獄建築修繕費等臨時追加豫算議定ノ爲メ本月十一日臨時縣會ヲ開クニ付來ル十日出頭ノ義直ニ縣會議員へ相達候條爲心得此旨相達ス

○達甲第十壹號 三月三日

郡區役所

今般大藏省所轄三浦鐵山局礦業上參考ノ爲メ諸官衙ニ於テ明治十八十九兩年中石炭需用供給前入用ノ義其筋ヨリ照會之ヲアルニ付左ノ書式ニ依準右兩年分各週ニ取調本月二十五日限リ有無共縣廳へ届山ヘシ

但戶長役場ニ於テ需用ノタル向アレハ本文ニ準リ取調差出スヘシ

自明治何年一月石炭及焦煤消費高調書
至全 年十二月

使消々所	種類消費噸數		内地產區別噸數		何所何製造用	官衙名	
	石炭	焦煤	内地產	外國產		石炭	焦煤
廳中用			内地產	外國產	汽車用		
何所何器械用			内地產	外國產	船艦用		
合計	石炭	焦煤	内地產	外國產		石炭	焦煤
			内地產	外國產		内地產	外國產

明治二十年達甲號

○百四十一

一 割引高ノ欄内ヘハ代金ノ割引高ヲ掲クヘシ
一 税額ノ欄内ヘハ代金ノ内ヨリ割引高ヲ加除シタル金額ヲ記入スヘシ

○達甲第十四號 三月廿二日

郡區役所

從來本縣師範學校初等科卒業證書及小學初等科教員全教授以上ノ免許狀ヲ所持シ其郡區(小學校在職ノ教員ハ總テ訓導ト心得ヘキ旨傳達スヘシ

○達甲第拾五號 三月廿四日

郡區役所

税金遞送ノ節巡査ノ職務ヲ請求シタル片ハ途中ハ日出ヨリ日没迄ヲ限リトシ其他ハ宿泊所ニ於テメヘシ

○達甲第十六號 四月一日

郡區役所

今般學制改定候ニ付テハ本縣達甲第拾四號及達乙第三十三號ヲ以小學校職員心得方及校長訓導係額相違候處本月以後新規則實施候ニ就テハ客年(六月)文部省令第拾三號ニ抵觸スルモノハ無論其校ノ廢止ニ係ル分及改正係額表ニ未滿ノ輩ハ總テ廢官タルヘシ

旨心得レムヘシ

○達甲第拾七號 四月六日

郡區役所

小學校長以下教員及幼稚保育場保母等取扱手續左ノ如ク相定ム

小學校長以下教員及幼稚保育場保母等取扱手續

第一條 郡區長ハ小學校長訓導及幼稚保育場保母ノ進退賞罰ヲ知事ニ具申スヘシ

第二條 小學校長訓導及幼稚保育場保母等ヲ任用ノ節ハ本人品行ヲ精査シ族籍年齡姓名係給ヲ記シ其學業職業賞罰等ニ關スル履歷書ヲ添ヘ具申スヘシ

第三條 小學校長訓導及幼稚保育場保母ノ他郡區ノ學校ヘ轉任セシメントスルトキハ

雙方郡區長ヨリ進署具申スヘシ

第四條 學校長訓導及幼稚保育場保母在職中改姓名死亡等異動アルトキハ其都度報告

スヘシ

第五條 小學校長訓導及幼稚保育場保母等ノ欠勤届一週間以内ハ其學校ヘ一週間以上

ハ郡區役所へ差出サン除服出仕ハ便宜處分スヘシ

第六條 授業生及幼稚保育場助手等ノ進退賞罰ハ郡區長ニ於テ處分シ并得所名ヲ以テ辭令書ヲ交付シ其都度報告スヘシ

第七條 授業生及幼稚保育場助手ニシテ第四條ノ事項ニ係ルモノモ其都度報告スヘシ

○達甲第拾八號 四月十八日

郡區役所

明治十九年(十二月)當縣達甲第貳拾貳號請貸付金徵收取扱順序中左ノ追加除更正ス

第五條中「所屬年度」ノ四字ヲ「除書式第四號更正ス

第十七條ノ次へ左ノ二條ヲ追加ス

第十八條 請貸付金徵收ニ係ル納額告知書發付高毎一ヶ月兩纏メ第十二號書式ニ仍リ報告書ヲ調製シ翌月七日迄ニ本廳へ送付スヘシ

第十九條 前條告知書ヲ發付ノ後年賦換等アルトキハ指付ノ月ニ於テ告知書取消報告書第十三號書式ニ仍リ調製スヘシ (書式畧之)

○達甲第拾九號 四月廿三日

郡區役所

明治十九年(十一月)當縣達甲第拾五號地方費出納規程第五項左ノ通改正ス

第五項 旅費証書ハ發着經過ノ各地及里ハ并御用柄ヲ詳記スヘシ

但數日ノ旅費ニシテ証書ニ記入シカタキモノハ別紙ヲ添付スベシ

○達甲第貳拾號 四月廿九日

郡區役所

本年(二月)當縣達甲第七號租稅歲入豫算調理順序中左ノ追加正附除ス(原達訂正)

○達 第貳拾壹號 五月二日

郡區役所

第二部歲入地券下附書換手數料豫算調理之儀左ノ通り心得ヘシ

一 郡區長ハ歲入豫算ヲ調製シ前年度五月二十日マテニ其廳ヲ發シ差出スヘシ

一 豫算調理ハ前々年度以前三ヶ年度(二十一年度分ハ十六十七)平均額(手數料實施以前ハ証印稅取

扱ノ枚數ニヨリ)ヲ標準トシ豫算ヲ立ツヘシ

但四捨五人ノ法ニヨリ圓位ニ止ムヘシ

一豫算ハ第一號書式ニ據リ差山スヘシ
 一豫算ノ認可ヲ得タルトキハ第二號書式ニ據リ往復ヲ除キ五日間ニ月額豫算書ヲ差出スヘシ

第一號書式 (用紙美濃野紙袋綴)

年號何年度

地券下附書換手數料收入豫算明細書

郡區役所

△ハ朱書

△標準額金

(前々年度以前三ヶ年度平均額)

△前年度豫算額金

(前年度豫算額ハ今回差山ノ二十一年度分ニ限り記入ヲ要セス)

一金

手 數 料

但標準額ニ比シ金何圓ヲ増減セシハ何々ニ由ル(増減)ヲ正スル事由ヲ記載スヘシ
 前年度豫算額ニ比シ金何圓ヲ増(減)セシハ何々ニ由ル(全上)

内 譯

金

地券下附書換手數料

右ハ何號何年度手數料收入豫算書面之通有之候也

年 號 月 日

郡 區 長 印

知 事 宛

第二號書式 (用紙全上)

年 號 年 度

地券下附書換手數料月額豫算仕譯書

郡 區 役 所

何地圖庫金田納所(何地出納支所)

(納付スヘキ金庫ヲ記載スヘシ)

一金

手 數 料

内 譯

金

地券下附書換手數料

明治二十年透甲號

〇百四十五

此月割

何年四月分收入

全 五月分收入

以下翌年三月分迄列記スヘシ

金 金 金

右ハ年號何年度手数料収入豫算月額書面之通有之候也

年號月日

郡 區 長 印

知 事 宛

郡 區 役 所

○達甲第貳拾貳號 五月五日

群馬縣巡査奉職ノ者其父母重病ニ罹リ他ニ看護者ナク若クハ變災ニ因リ一家ヲ維持シ難キ場合ニ於テ退職ヲ請願シ又ハ歸省旅行中天災等ニテ意外ノ障礙ニ遇ヒ許可限内歸署スル能ハサルトキハ其地所轄郡區役所ノ證明書ヲ受ケレムヘキ事ニ相定メタル旨該縣ヨリ照會シ來ルニ付可右申出ノモノ之レアル節ハ其事實取調ノ上證明書ヲ與フヘシ

○達甲第貳拾三號 五月五日

郡 區 役 所

客月十五日北海道廳管下後志國壽都島牧預備磯谷郡役所書類悉皆燒失ニ付豫テ全役所ヘ對テ照會中ノ件ニシテ未タ完結ニ至ラサルモノハ此際更ニ照會可致旨該廳ヨリ照會アリタリ此旨心得ヘシ

○達甲第貳拾四號 五月十日

郡 區 役 所

明治十九年(六月)文部省令第拾號ニ依リ尋常師範學校入學生徒薦舉取扱手續左ノ通相定ム

第一條 郡區町ノ薦舉スヘキ尋常師範學校生徒員數ヲ定ムルコト左ノ如シ

上道郡	三人	兒島郡	三人
淺口郡	三人	岡山區	二人
津高郡	二人	和氣郡	二人
邑久郡	二人	鎭屋郡	二人

明治二十年達甲號

○百四十六

小田郡	二人	賀陽郡	二人
川上郡	二人	御野郡	一人
赤坂郡	一人	磐梨郡	一人
都宇郡	一人	後月郡	一人
下道郡	一人	上房郡	一人
阿賀郡	一人	哲多郡	一人
兵島郡	一人	大庭郡	一人
西々條郡	一人	西北條郡	一人
東北條郡	一人	東南條郡	一人
吉野郡	一人	勝北郡	一人
勝南郡	一人	英田郡	一人
久米北條郡	一人	久米南條郡	一人

第二條 郡區長ハ尋常師範學校長ノ通知ニ因リ其部内ニ於テ學力優等品行方正ナルモノニ就キ第一條定ムル所ノ人員二倍以上ヲ擢擧スヘシ

但薦舉生ノ學力等ヲ認メ難キ場合ニ於テハ便宜假檢定ヲナスコトヲ得

第三條 郡區長ハ常ニ部内生徒中學力才幹アリテ他小學校長教員等ノ代堪フヘキモノヲ注視ス

第四條 薦舉生ノ年齢ハ十七年以上二十年以下トス

第五條 郡區長ニ於テ其薦舉生不合格ニシテ欠員ヲ生スルトキハ尋常師範學校ニ照會シ他郡區薦舉生ノ剩餘若クハ直ニ本校ヘ入學ヲ志願スル生徒ノ内ヨリ補充スルコトヲ得

○達甲第貳拾五號 五月十四日 郡區役所

別紙屬第十一號召集事務内則爲心得頒布ス

屬第拾壹號

第二部兵事課

召集事務内則別紙ノ通相定ム

但内則中準備ニ屬スル事項ハ速ニ結了スヘシ

召集事務内則

第一條 召集事務内則ハ條例陸軍召集條例ヲ云フ以下同シ第二十四條ノ旨趣ニ從ヒ兵事課員并警察官吏ノ擔任スヘキ細務ヲ示スモノナリ

第二條 條例第二十九條ノ達文ハ兵事課ニ於テ第一書式ニ據リ平時之ヲ作り置キ召集ノ令アルニ臨ミ年月日ヲ記入レ直ニ發送スヘシ

第三條 警察署長又ハ分署長前條ノ達ヲ受テタル片ハ直ニ部下ノ巡查ヲ指揮シ條例第二十八條第一項第三項及ヒ本則第八條ノ件ヲ執行セシムヘシ

第四條 第二條ノ達ヲ發スルハ飛信若クハ豫定ノ脚夫ヲ使用スヘキヲ以テ兵事課ニ於テハ平時其準備ヲ爲シ置クヘシ

第五條 前條ノ脚夫ヲ發遣スルトキハ晝間ハ木牌(第二書式)夜間ハ木牌ノ外縣名ヲ標

記シタル提燈ヲ携帯セシムヘシ

第六條 警察署長分署長ハ郡區長ト商議シ左ノ各項ニ照シ條例第二十八條第二項ノ軍用旅舎ヲ豫定シ置クヘシ

一 旅舎ヲ豫定スルハ縣道以上トス但枝道ト雖モ往來ノ頻繁ノ場所ハ之ニ準ス

二 旅籠料ハ晝辦當ヲ合セテ概テ金拾五錢以内ヲ標準トシ締約スヘシ

三 標旗標燈ハ旅舎所有ノ國旗并高張若クハ提燈ニ陸軍ノ徽章ヲ附着セシムルモノトス然レトモ都合ニ由リ旅舎ヲシテ新調セシムルハ適宜タルヘシ

四 本條ニ據リ旅舎ヲ豫定シタル片ハ正當人ノ請書ヲ徵スヘシ

第七條 前條旅舎ヲ定タル後第三書式ノ名簿ヲ製シ警察署並分署ニ備ヘ置クヘシ

第八條 召集ノ際警察官吏ハ旅舎ヲシテ標旗標燈ノ外「陸軍軍用旅舎」ト大書シタル標札紙又ハ木適宜ヲ掲ケシムヘシ

第九條 條例第廿八條第三項ニ據リ出張スヘキ河川港灣ハ左ノ場所トス

備前國

岡山縣松着町乘松場	津高郡今保村 <small>字引</small> 渡場
赤坂郡牟佐村渡場	赤坂郡周匠村渡場
磐梨郡佐伯村渡場	磐梨郡原村渡場
上道郡一日市村渡場	上道郡江並村三番港
上道郡九幡村乘船場	兒島郡小串村乘船場
兒島郡彦崎村渡場	兒島郡植松村渡場
備中國	
下道郡川邊村渡場	賀陽郡美袋村渡場
川上郡田井村渡場	川上郡成羽村渡場
川上郡下原村渡場	上房郡松山村 <small>字</small> 渡場
哲多郡非倉村渡場	阿賀郡草間村渡場

阿賀郡正田村渡場

美作國

眞島郡且土村渡場	眞島郡垂水村渡場
大庭郡久世村渡場	勝南郡吉々原村渡場
勝南郡飯岡村渡場	久米南條郡福渡村渡場

第十條 條例第二十八條第四項ノ失踪逃亡違令者ノルトキハ、鎮守寮所後備軍司令官府縣駐在官郡區駐在官又ハ郡區長戸長ヨリ通知スヘキヲ以警察署長分署長ハ速ニ同項ノ手續ヲ爲スヘシ

但本條ノ失踪逃亡違令者ハ普通治罪法ニ據リ處分スヘキ者ハ含有セズ

第十一條 條例第四十三條第五十九條第七十五條第八十九條第九十六條第一百二十五條第一百三十六條ニ依リ警察署分署又ハ巡查交番所証認ヲ請フモノアルトキハ第四書式ニ據リ與書スヘシ

第十二條 傭員兵員召集ニ應シ旅行途中川支又ハ其他ノ事故(病氣ヲ除ク)ニテ滞留シ
 警察官ノ証證書ヲ請求スルトキハ第五番式ニ據リ之ヲ付與スヘシ

第十三條 警察署長并分署長第一充員第二充員補備軍召集ノ請ヲ受ケタルトキハ直ニ
 其署并巡査交番所ニ條例第四樣式ノ揭示ヲ爲スヘシ
 其揭示場ノ設ケナキ所ハ豫シシ其場所ヲ定メ置クヘシ

第十四條 條例第四樣式ノ揭示文ハ朱書ヲ用フヘシ

第十五條 條例第五十條ノ旅費計算書ハ兵事課ニ於テ取纏ノ審査ノ上近衛又ハ鎮守監
 督部ニ送付ノ事ヲ調理スヘシ

第十六條 條例第四百四十八條ノ名簿ハ別ニ警察署并分署及ヒ兵事課ニ備ヘ置キ異動
 ル毎ニ筆削ヲ加フヘシ

第十七條 召集事務細則第五十二條ニ據リ郡區長ヨリ兵籍表ヲ繕出ストキハ兵事課ニ
 於テ之ヲ前條ノ名簿ニ照較シ郡區ヲ分テ兵籍總計表ヲ作り知事ノ閲覧ニ供スヘシ

第十八條 條例第四百六十六條ノ召集旅費概算表ハ兵事課ニ於テ之ヲ作ルヘシ

第一番式

某郡(區)役所
 又ハ
 某警察署(分署)

第一(二)充員(後備軍傭員)(後備役兵員)召集
 御沙汰相成候旨通知アリタリ
 右相達ス

明治 年 月 日 岡山縣知事 姓 名
 (近衛各兵ハ渾テ近衛ノ二字ヲ冠書スヘシ)
 (封皮ニ何々召集事件ト朱記スヘシ)

第二番式

木牌雜形
 三寸五步

第 號	燒印
召集御用脚夫	應 術 名

第三書式

某警察署 某分署 所轄内軍用旅舎名簿

何郡

何村 字何々

屋号何々

何 某

何村 字何々

、 、 、 、

、 、 、 、

何區

何町

屋号何々

何 某

第四書式

(此名簿ハ異動アル毎ニ筆削ヲ加フヘシ)

前書之趣証認候也

又ハ

岡山縣某警察署(分署)長官氏 名印
何巡查交番所詰

齊巡 姓 名印

第五書式

証認書

何府(縣)郡(區)町(村)住

豫備役(後備軍)驅員

官(何兵何等卒) 姓 名

右者川支(又ハ何々)ニ依リ何月日ヨリ何月日迄某地ニ滞留セリ
右証認候也

岡山縣某警察署(分署)(巡查派出所)詰

警部(補)(巡查)姓 名印

年号月日

(近衛ハ豫備役ノ上ニ近衛ト冠書スヘシ)

○透甲第貳拾六號 五月十四日

郡區役所

本年勅令第五號ヲ以テ所得税法公布相成條ニ付該法第六條及附則ニ據リ届出タル豫算
金高ニ基キ二十年度追加豫算書ヲ編製シ八月十五日迄ニ差出スヘシ

○透甲第貳拾七號 五月廿一日

郡區役所

明治廿一年度第一部歳入豫算ノ内所得税ノ備ハ本年九月三十日限リ追加豫算書ヲ以テ
差出スベシ

○達甲第貳拾八號 六月七日

郡區役所

徴發物件比較表式別紙ノ通制定候條毎年徴發物件表ト共ニ差出スヘシ
但本年分ニ限リ來ル六月二十日限リ差出スヘシ

備考	水車場	校敷		學取		院敷		寺軒		官廨		貸廩		貸庫		人夫		人口		各戸坪數		戸數		物件	所在地	何町	何村	何村	何村	何村	何村
		本	前	本	前	本	前	本	前	本	前	本	前	本	前	本	前	本	前	本	前	本	前								
増減ノ理由ハ戸長役場ノ所在山村名ノ記シ其所轄内ノ總數ヲ記載スルモノトス 増減ノ區畫ハ前年ト對照シ本年ノ増減ノ記載スルモノトス	増減ノ理由	増減ノ理由	増減ノ理由	増減ノ理由	増減ノ理由	増減ノ理由	増減ノ理由	増減ノ理由	増減ノ理由	増減ノ理由	増減ノ理由	増減ノ理由	増減ノ理由	増減ノ理由	増減ノ理由	増減ノ理由	増減ノ理由	増減ノ理由	増減ノ理由	増減ノ理由	増減ノ理由	増減ノ理由	増減ノ理由	何町	何町	何村	何村	何村	何村	何村	

十九年八月暴風ノ爲破壞ノ家屋多キニ由ル
 八八二〇
 九〇九〇
 二七〇

一 公賣ノ物件數多ニシテ一欄内ニ記載シ能ハサルトキハ順次本欄内ヲ遂ヒ列記ス

一 公賣ニ附スヘシ財産之レナキトキハ公賣物件ノ欄内ニ〇符ヲ以テ表スヘシ

一 公賣ノ財産買受人ナク郡區長又ハ戶長ニ於テ管掌シタルトキハ公賣代價ノ欄内ニ〇符ヲ以テ表スヘシ

○達甲第三拾號 六月十六日

郡區役所

明治二十一年度以降第一節歳入豫算中過年度ニ屬スル收入ヲ加算シタル分ハ別ニ款項目ニ區分シタル仕譯書ヲ調製シテ差出スヘシ

但二十一年度分ハ本月二十五日迄ニ差出スヘシ

○達甲第三拾壹號 六月廿三日

郡區役所

所得稅彙帳様式別冊ノ通被相定候ニ付右ニ據リ調製スヘシ

但様式ハ收稅部ヨリ送付ス

○達甲第三拾貳號 六月廿四日

郡區役所

元軍用電信技手ニシテ直ニ陸軍技手トナリ電信ノ業務ニ服スル者ハ明治十八年(九月)當縣申第九拾三號達ニ依リ引續徵集猶豫ニ屬スル儀ト心得ヘシ

○達甲第三拾三號 六月三十日

郡區役所

客年(二月)當縣丁第九拾四號達報告表及ヒ期限表ノ内左ノ通更正加除ス
報告表ノ部

第八號煙草營業鑑札受冊計算表及ヒ第九號菓子鑑札受冊計算表様式ヘ左ノ備考ヲ加フ

一 廢業及書損等ニテ返納シタル鑑札ハ該鑑札ヘ其返納ノ事由及ヒ年月日ヲ記入消印シテ年度分取纏ノ本表ニ添ヘ縣廳ヘ返納スヘシ

第貳拾五號第貳拾六號様式ヲ廢ス

第貳拾九號様式表題明治何年一月(七月)一日現在云云トアルヲ(明治何年一月一日

明治二十年達甲號

百五十三

現在(明治何年八月一日ヨリ) 銃獵免許人員報告表ト更正ス
(同何年五月三十一日迄) 銃獵免許人員報告表ト更正ス
期限表ノ部

煙草及ヒ菓子廢業並ニ書換鑑札返納表ノ二項ヲ廢ス

銃獵免許人員報告表(一月七月)十日トアルヲ(一月六月)十日ト更正ス

但本年ニ限リ七月十日ヲ期シ差出スヘシ

○達甲第三拾四號 七月九日 第一部 警察本部 郡區役所 警察署

虎列刺病流行之際特ニ檢疫委員ヲ命ジ又ハ檢疫所ヲ設置シ豫防救治ニ從事セシムル節
費用支出區分左之通相定ム

第一官吏ニ屬スル經費支出區分

一 屬官警部警部補ニシテ豫防救治ニ從事セシモノ旅費及脂料ハ委リノ名稱アルト否ラ
サルトノ別ナク各木屑經費中ヨリ支辨ス

但檢疫本支部又ハ派出所海陸檢疫所等へ在勤該所ヨリ往返一里未滿ノ場所へ急行

出張車馬賃及該所備付ノ車馬等ニテ往復セシ車馬賃ハ本文ノ限ニ非ス

一 郡區書記及巡查又ハ郡區役所及警察署備員ニシテ檢疫委員又ハ全心得ノ名稱アルモ
ノ旅費及脂料ハ傳染病豫防費ヨリ支辨ス

一 官吏ニシテ傳染病豫防救治ニ從事シ爲メニ病毒ニ感染シ又ハ死亡シタルモノ手當金
ハ各木屑經費中ヨリ支辨ス

第二傳染病豫防費ヨリ支出編入區分

一 檢疫本支部及派出所海陸檢疫所又ハ傳染病豫防事務所ニ屬スル諸費

一 官立醫院ニ屬スル諸費

一 檢疫醫及諸僧小使等給料及旅費脂料

一 遮斷法執行ノ爲メ設ケタル垣垣等ニ使用セシ物品及人夫賃

一 檢疫醫及諸僧看病人小使等病毒ニ感染シ又ハ死亡シタルモノ手當金

但民設ニ係ルモノハ本文ノ限ニ非ス

一 相當官吏ノ命令ニ依リ患家及患者ニ關スル排泄物取捨人足賃
一 患者ノ宅内及患者ニ關係アル家屋又ハ遮斷地内へ相當官吏ノ命令ニ依リ消毒法ヲ行
ヒタル節使用セシ消毒藥

一 相當官吏ニ於テ傳播ノ恐レアルト認メ避病院へ入院ヲ促シタル節運搬人足賃
以上列記スルノ外豫防消毒上ニ付要スヘキ費用ハ患家ノ自辦又ハ最寄協議費或ハ區町
村費ノ負擔トシ郡區長ニ於テ便宜處辨ノ方法ヲ定ムヘシ

○達甲第三拾五號 七月九日

警察本部 郡區役所 警察署

虎列刺病流行之際豫防救治ニ屬スル經費及物品整理方左ノ通相定ム

第一項 檢疫支部派出所船舶検査所陸路檢疫所ノ會計ハ(本廳直轄ノケ所ヲ除ク)所轄
郡區長ニ於テ管理シ支部以下各所ニ屬スル費用一ケ所限リ別紙第一號第二號書式ニ
依リ豫算相立每一ケ月分宛請求スヘシ

但巡查以下ニ屬スル費用ハ本文ニ準シ各警察署長ヨリ請求スルコトヲ得

第二項 病勢ノ摸樣ニ因リ豫算金額ニ不足ヲ生スル片ハ前項ノ手續ニ因リ追求スヘシ
第三項 前項假出金ヲ受取タル片ハ現金ハ郡區役所ニ於テ嚴重保管シ各所限リ有用ノ
都度出納ヲ爲スヘシ

但警察署ニ係ルモノハ警察署長之ヲ保管スヘシ

第四項 檢疫支部以下ニ屬スル經費ハ各所限リ別紙第三號雛形ニ依リ金錢受拂簿ヲ製
シ嚴密登記シ取扱人貳名調印ノ上出納ヲ爲スヘシ

第五項 物品帳簿ヲ調製シ置キ物品買入ノ都度類別記入シ又物品渡簿ヲ調製シ鎖少ノ
品ト雖モ取扱人及辭取人調印ノ上受渡ヲ爲スヘシ
但燬棄又ハ破損シタル物品ハ其譯記入証明スヘシ

第六項 藥品ハ別ニ藥品受拂簿ヲ調製シ受拂ノ都度量數及使用ノ理由ヲ記入シ取扱人
調印ヲ爲シ置クヘシ

第七項 檢疫支部以下ノ費用ハ一ケ所限リ每一ケ月分取纏メ別紙第四號第五號書式ニ

依リ勘定帳及明細表調製シ正當証書ヲ費目ノ順序ニ依リ類別編綴シ翌月十日限リ決算スヘシ

但警察署ニ於テ取扱タル費用ハ本文ニ準シ警察署長ヨリ決算スヘシ

第八項 檢疫支部以下避病院等新築及ヒ五圓以上ノ修繕物品一廉三圓以上ノモノハ經伺ノ上處辨スヘシ

第九項 檢疫支部以下建築ニ係ルモノハ細圖ヲ調製シ營繕ニ屬スル物品ハ別ニ帳簿ヲ製シ詳細記入添付シ置クヘシ

第十項 檢疫支部以下ノ物品ハ廢止ノ日ヨリ三十日以内ニ一ヶ所限リ物品目錄ヲ調製シ處分方伺出ヘシ

第十一項 檢疫ニ關スル經費出納及物品取扱方ハ時々主管者ヲシテ監査セシムルコトアルヘシ

(第一號)

請求書

一金何程

是ハ明治何年何月分何郡區何

檢疫支部派出所
船舶檢査所又ハ
避病院 諸費前借

右金員何官何條誰ヲ以テ爲受取候條(又ハ地方稅收入金有之候條金券ヲ以テ)御下渡相成度則別紙豫算仕譯書相副及請求候也

年月日

郡(區)長 姓名 印

岡山縣知事姓名殿

(第二號)

明治何年何月分何郡區何

檢疫支部又ハ派出所
船舶檢査所又ハ避病院 諸費豫算仕譯書

一金何程

豫算 高

内譯

金何程

雜

給

内

金何程

月給又ハ口給何程醫師何人此金額何程檢疫掛何人此金額
但何程小使何人此金額何程排泄物取捨人足賃積金何程其
他諸雇給ニ属スルモノハ総テ凡積金額ヲ記入積算スヘシ

金何程

宿直檢疫委員何人延何日此金額何程醫師何人延何日此金
額何程檢疫掛何人延何日此金額何程小使何人延何日此金
額何程ト宿直及徹夜附料ヲ積算記入スヘシ

金何程

但檢疫委員ノ郡區書記何人旅費凡積金何程檢疫醫何人全上
金何程檢疫掛何人全上金何程ト記入積算スヘシ

内

雜費

金何程

備品消耗品
内 金何程
金何程

金何程

運送費

給

料

費

費

品

品

費

金何程

但書留手數料モ併算スヘシ

郵便電信料

金何程

但何所借家料何程臥具其他諸物品借上損料何程

諸雜費

金何程

但避病院ニ属スルモノハ隨時見込相立支部以下ニ属スルモノハ總同濟ノモノニ
限ル

治療藥

金何程

但石炭酸昇汞里斯林ヲ除ク外消毒ニ属スル藥品代價凡積ヲ記入スヘシ

消毒藥

金何程

但檢疫所及避病院新築ニ係ルノハ別途請求スヘキモノトス

修繕費

金何程

附料

但避病院患者附料

右ハ明治何年何月分本郡(又ハ何々)檢疫費豫算前書之通相違無之候也

年月日

郡(區)長 姓名 印

岡山縣知事姓名殿

(第三號)

明治何年何月ヨリ

何又ハ派出所 處傳染病豫防費受拂部
避病院

何郡區役所

元受之部

何月何日

一金何程 ○○——取扱人ノ印以下全

是ハ何月分何々費受取高

何月何日

一金何程 ○○

是ハ何月分何々費補充金受取高

一金何程 ○○

是ハ何月分何々費受取高

小計金何程 ○○

通計金何程 ○○

支拂之部

何月何日

一金何程 ○○——取扱人ノ印以下全

是ハ何々買上代何(町村)何條離拂

一金何程 ○○

明治二十年達甲號

〇百五十八

是ハ何月分何々給何條誰拂

小計金何程○○○

何月何日

一金何程

是ハ何月自何日至何日臨時小使給何條誰拂

何月何日

一金何程○○○

是ハ何月自何日至何日旅費日當及車賃何官何條誰拂

一金何程○○○

是ハ(前項ニ)做フ拂

小計金何程○○○

通計金何程○○○

以下做之

仕拂殘金之部

何月何日

一金何程○○○——取扱人ノ印以下全ク

何月何日

一金何程○○○

何月何日

一金何程○○○

(備考)勘定帳ハ袋綴ニ調製シ裏面封處ニ郡區長調印スヘシ

(第四號)

明治何年何月

明治何年何月分何(檢疫所又ハ)處傳染病豫防費勘定帳(避病院)

明治二十年第甲號

〇百五十九

何郡區役所

明治何年何月分何郡區何

檢疫支部
派出所
船舶檢査所

處諸費任拂決算書

元受

一金何程

何月何日受取(又ハ前月ヨリ越高)

一金何程

何月何日受取

合計金何程

一金何程

支拂

支拂高

一金何程

差引殘金

翌月へ越高(又ハ返納スヘキ分)

前書之通相違無之則明細書及明細表并ニ正當受取人証書ヲ副決算候也

年月日

何郡(區)長 姓名 印

岡山縣知事姓名殿

明治何年何月分何郡區何 (檢疫支部及派出所) (陸路及船舶檢査所) 處諸費任拂明細書

一金何程

仕 拂 高

此 譯

金何程

雜 給

内

金何程

諸 備 給

内

金何程

醫 員 備 給

(醫師月給日給及臨時雇醫給料ハ總テ此部ニ編入スヘシ)

金何程

檢 疫 掛 備 給

(檢疫掛檢査掛又ハ臨時雇檢疫掛等ノ給料總テ此部ニ編入スヘシ)

金何程

看 病 人 備 給

明治二十年 達甲號

〇百六十

金何程	小使備給
金何程	臨時僱人足賃
金何程	附料
金何程	旅費
金何程	旅費
金何程	實費車馬賃
金何程	雜費
金何程	備品消耗品
金何程	備品消耗品

（風外被人は賃排洩物取捨人は賃遮斷地内増垣仕調人夫賃車馬及能夫賃患者運搬人は賃等總テ臨時僱ニ屬スル人は賃ハ此部ニ編入スヘシ）

（往返壹里以上ノ出張ニシテ本例ノ車馬賃ニテ難支場合ニ於テ實費拂ヲ許可シタル節支給セシ車馬賃額ヲ記入スヘシ）

金何程	備品消耗品
金何程	郵便電信料
金何程	運送費
金何程	諸雜費
金何程	借家料
金何程	臥具其他諸物品損料
金何程	船々子付借上料
金何程	治療藥價
金何程	消毒藥價
金何程	避病院及檢疫所修繕費
金何程	避病院及檢疫所修繕費

明治二十年達甲號

〇百六十一

金何程
金何程

避病院修繕費
檢疫所全上
避病院患者賄料

右、明治何年何月分何處傳染病豫防費什拂明細書面之通相違無之候也

年月日

何郡區長 姓名 印

岡山縣知事姓名殿

(備考)勘定帳ニ全シ但主任書記調印スヘシ

(第五號)

明治何年何月

明治何年何月何(檢疫所又ハ)處傳染病豫防費什拂明細表

何郡區役所

明治何年何月分諸僱給明細表

令金何程 ○主任者ノ印以下全シ (主任)以下全シ 郡(區)書記 何 某 印

内譯

名	稱	金額	事由
醫員	給	何程	一日金何程ノモ、何人延何十日金何程一日金何程ノモ、何人延何十日金何程ト支給金額及日數ノ異ナル毎ニ明記スヘシ以下做之
檢疫掛僱給	給	何	
小使	給	何	
香病	給	何	
風呂焚人足賃	給	何	
排泄物取捨人足賃	給	何	
遮斷地内掃垣	賃	何	
任調人夫	賃	何	
車馬	賃	何	往通一里未滿ノ場所へ急行車馬賃何度此金額何程備付馬車何程此金額何程
患者運搬人足賃	賃	何	他夫何十何度延里程何百何十里平均一里金何程
何	賃	何	

明治何年何月分賄料明細表

明治二十年正月號

〇百六十二

合金何程

內譯

郡(區)書記 何 某印

名	稱	金	額	事	由
郡區書記	何	程	何	何日ヨリ何日迄宿直何人何延十人賄度數	
又ハ何々	何	程	何	何百何度一度金何程	
全	上	何	程	何日ヨリ何日迄徹夜何人延何十人賄度數	
全	上	何	程	何百何度一度金何程	
全	上	何	程	何日ヨリ何日迄全上	

明治何年何月分旅費明細表

合金何程

內譯

郡(區)書記 何 某印

名	稱	金	額	車	由
郡區書記	何	程	何	何日ヨリ何日マテ一日金何程ノモノ何人延何十何人	
又ハ何々	何	程	何	旅費日當	
全	上	何	程	何所ヨリ何所マテ往復何度延里程何程其馬賃一里金何程	
全	上	何	程	何所ヨリ何所マテ往復何度延里程何程其馬賃一里金何程	
全	上	何	程	車馬賃平均壹里金何程	

明治何年何月分備品費明細表

合金何程

內譯

郡(區)書記 何 某印

金	額	品	目	數	量	壹	個	當
何	程	何	々	何	程	何	程	程
何	程	何	々	何	程	何	程	程
何	程	何	々	何	程	何	程	程

明治何年何月分消耗品費明細表

合金何程

內譯

郡(區)書記 何 某印

金	額	品	目	數	量	壹	個	當
何	程	何	々	何	程	何	程	程
何	程	何	々	何	程	何	程	程
何	程	何	々	何	程	何	程	程

明治何年何月分郵便電信料明細表

明治二十年達甲號

一〇百六十三

合金何程

内譯

何	程	何所ヨリ何所へ達シタル郵便物何件此金額何程
何	程	何所ヨリ何所へ通信シタル電信何度此金額何程
何	程	全上上
何	程	全上上
何	程	全上上

由

郡(區)書記 何 某 印

合金何程

内譯

何	程	何所ヨリ何所へ運送何度延里程何程但平均一里金額何程
何	程	全上上
何	程	全上上
何	程	全上上

由

郡(區)書記 何 某 印

明治何年何月分運送費用明細表

合金何程

内譯

何	程	何所ヨリ何所へ	何事
何	程	何々所	(何月分)又ハ何日ヨリ何日迄何日間(借家料)
何	程	全上	(但一日金額何程)

由

郡(區)書記 何 某 印

明治何年何月分借家料明細表

合金何程

内譯

何	程	大蒲函何枚	何月何日ヨリ何月何日迄何日間但一日一枚ニ
何	程	小蒲函何枚	付金額何程
何	程	蚊帳何垂	以下之ノ例ニ倣フ
何	程	何々	

由

郡(區)書記 何 某 印

明治何年何月分臥具其他諸物品損料明細表

合金何程

内譯

何	程	何品	何事
何	程	大蒲函何枚	何月何日ヨリ何月何日迄何日間但一日一枚ニ
何	程	小蒲函何枚	付金額何程
何	程	蚊帳何垂	以下之ノ例ニ倣フ
何	程	何々	

由

郡(區)書記 何 某 印

明治二十年達印號

何 程一何

明治何年何月分船々子付借上料明細表

合金何程

郡(區)書記 何 某印

內譯

金額	何
程	何
全上	何

明治何年何月分治癒藥價明細表

合金何程

郡(區)書記 何 某印

內譯

金額	何
程	何
何	何
何	何
何	何
何	何
何	何
何	何

明治何年何月分消毒藥價明細表

合金何程

郡(區)書記 何 某印

內譯

金額	何
程	何
何	何
何	何
何	何
何	何
何	何
何	何

明治何年何月分修繕費明細表

合金何程

郡(區)書記 何 某印

內譯

金額	何
程	何
何	何
何	何
何	何
何	何
何	何
何	何

明治何年何月分患者賄料明細表

明治二十年通印號

〇百六十五

合金何姓

郡(區)書記 何

某印

内譯

金程 何日ヨリ何日迄何日間患者何人附料一白壹人金何程
何程 全 上

○達甲第三拾六號 七月九日

郡區役所

備荒公儲金徵收既未濟報告ノ義客年(十二月)當縣達甲第貳拾三號第四項第五項ニ準レ
収稅長ヘ報告スヘレ

○達甲第三拾七號 七月十一日

郡區役所

明治十九年(六月)當縣丁第六拾壹號達印紙類賣下賣捌規則取扱手續第八項印紙代金ノ
延納ノ辭可スルトキハ其抵當トナスヘキ公債証書ノ價格自今左之通定メラル

各公債証書抵當價格

中山道鐵道

額面百圓ニ付

金九拾五圓

七分利付金祿

全

全 上

六分利 全

全

金九拾圓

五分利 全

全

全 上

起 業 全

全

全 上

金札引換 全

全

全 上

海 軍 全

全

全 上

整 理 全

全

全 上

新公債 全

全

金七拾貳圓

○達甲第三拾八號 七月十二日

郡區役所

十九年甲第百七拾九號及甲第貳百三拾五號甲第貳百九拾九號達ハ廢止ス

○達甲第三拾九號 七月十三日

郡區役所

町村地圖編製法別冊準例相添左ノ通其筋ヨリ訓示相成候ニ付テハ將來地圖ノ調製ハ此

明治二十年達甲號

○百六十六

準例ニ據ルヘシ尤モ目下土地調査ニ際シ本縣既定ノ手續ニ據リ調製着手中ノモノハ故
クニ改正ニ及ハス他年地圖ノ改正ニ際シ漸次本則ニ據ラシムル儀ト心得ヘシ
但別冊準例ハ收稅部ヨリ同附ス

町村地圖編製法訓示ノ要領

地租改正ノ際調製セン町村地圖ハ各地方便宜ニ任セ技術不慣熟ナル人民ノ手ニ成リシ
モノナルカ故ニ概テ一筆ノ廣狹形狀等實地ニ適合セス或ハ脱漏重複又ハ位置ヲ轉倒ス
ル等不完備ヲ免カレサルモノ多キニ居ル加之地租改正以後十余年間頻繁地目ノ異動ア
ルモ地圖ハ改正ヲ加ヘサルカ爲メニ目今ニ至リテハ頗ル錯雜ヲ極メ實地ト齟齬スルモ
ノ夥多ニシテ到底地圖ノ用ヲナス能ハサルヨリ往々地圖更正ニ着手ノ地方アリ一休地
圖ハ各町村ノ實況ヲ詳カナラシムルモノニシテ地租ノ調査上ハ勿論土地百段ノ徵証ニ
欠クヘカラサルモノトス依テハ今后地圖ヲ更正スルモノハ別冊準例ニ憑據スルモノト
ス

但目下地圖更正ニ着手セサル地方ト雖モ到底更正ヲ必要トスル町村ハ漸次更正ニ着
手スルヲ要ス尤モ從來ノ地圖別冊準例ノ旨趣ニ齟齬セサルモノハ更ニ調製スルヲ要
セス

○逓甲第四拾號 七月十八日

郡區役所

租稅官損稟申方等明治十八年(六月)當縣丁第四拾貳號ヲ以テ相違置候處更ニ左ノ通改
定ス

- 一明治十年第七拾九號公布ニ據リ内國稅不納者公賣處分ノ末官損ニ歸レタル金額ハ甲
號樣式ニ倣ヒ調製シ毎稅納期限後四十日以内ニ稟申スヘシ
- 一前項既往年度ニ屬スルモノハ處分完了ノ都度其金額及所屬元年度不納者住所氏名等
ヲ詳細ニ收稅長ヘ報告シ置キ而シテ乙號樣式ニ倣ヒ前後半年度ニ區分調製シ前半
年度分ハ十月五日以内後半年度分ハ翌年四月五日以内ニ稟申スヘシ
- 一荒地成免租出願中又ハ非常ノ災害ニ罹リ備荒儲蓄金ヨリ補助或ハ貸與具狀中ノ類ニ

ノ上不納金額ニ充タル分		財産買受盟人之ナク官没ノ分		財産之ナク分	
賣却徴收金額	官損金額	官損金額	官損金額	官損金額	官損金額
520.0	220.0	0	0	0	100.0
	0				
0	0		200.0	0	
100.0	250.0	0	0	0	
620.0	470.0	200.0		100.0	
086.0	286.0	0	0	0	
0	0				150.0
086.0	289.0	0	0	0	150.0

明治二十年請甲號

○百六十八

自明治何年何月至全何年何月内國稅ノ内既往年度分書面之通官損稟申候也

郡(區)長印

明治何年何月何日

岡山縣知事宛

レテ納期ニ際シ徴收シ能ハサル分ハ其金額事由ヲ詳記シ該稅納期十五日以前延納ヲ稟請シ而シテ免租又補助貸與許否指令濟ノ上第一項處分ニ係ルモノアルトキハ其處分完了後五日以内ニ追加官損金額表ヲ以テ稟申スヘシ
印ハ未書